

令和5年度

教育委員会の自己点検・評価報告書

(令和4年度事業対象)



令和5年7月

菊川市 教育委員会

目 次

	ページ
1 教育委員会の点検・評価について	
1) 趣旨	2
2) 点検・評価の対象	2
3) 点検・評価シートの構成	2
4) 学識経験者の知見の活用について	3
5) 公表について	3
2 教育委員会の活動及び運営状況報告	
1) 教育委員会委員構成	4
2) 令和4年度教育委員会審議状況	5
(1) 菊川市教育委員会審議案件	5
(2) 菊川市教育委員会報告事項	7
3) 令和4年度教育委員会議以外の活動報告	9
3 自己点検・評価シート	
1) 教育委員会の活動「シート1」	11
2) 教育委員会が管理・執行する事務「シート2」	12
3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務「シート3」	13
こども政策課 事務事業評価	14
学校教育課 事務事業評価	18
教育総務課 事務事業評価	26
社会教育課 事務事業評価	31
図書館 事務事業評価	47
4 学識経験者の意見	
1) 外部評価	54

1. 教育委員会の点検・評価について

1) 趣旨

平成20年4月1日に施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）」第26条の規定に基づき、教育委員会は毎年、その権限に属する主要な施策や事務事業の取り組み状況について、教育委員会自らが点検評価を行うことが義務付けられました。

これは、教育委員会の今後の取組の方向性や課題を明らかにすることにより、政策効果、必要性、効率性等について、教育行政の一層の推進を図ることを目的としています。

また、結果に関する報告書を作成し、市議会へ提出するとともに一般市民に公表することにより、説明責任を果たし、信頼される教育行政の推進を目指してまいります。

2) 点検・評価の対象

点検・評価の実施にあたっては、令和4年度における教育委員会の活動や運営状況及び関係各課の事務事業を対象として点検評価を実施いたしました。

3) 点検・評価シートの構成

① 教育委員会の活動及び運営状況「シート1」

令和4年度における教育委員会の活動及び運営状況の報告を行うとともに、会議の運営改善・公開、情報発信等の活動や運営について、自らが行う事業や活動を中心に6つの項目に分け、点検事項として小項目を設け、各項目の点検評価を行いました。

② 教育委員会が管理・執行する事務「シート2」

法第21条の規定に基づき、教育委員会が自ら管理・執行する事項について、12の項目に分け構成しました。

上記の①と同様に、令和4年度における各事務の対応状況等について点検評価を行いました。

③ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務「シート3」

法第25条第1項の規定に基づき、教育委員会が管理・執行を教育長に委任して行う事務・事業のうち、教育委員会事務局を構成する各担当課及び教育委員会の権限に属する事務の一部を補助執行する担当課が扱う施策ごとに体系図と点検評価のシートを作成し、施策を構成する主な事務事業の実施状況について点検し、評価を実施しました。

4) 学識経験者の知見の活用について

法第26条第2項の規定による「学識経験等を有する者の知見の活用」については、それぞれ関係する組織の代表者の皆様にお願ひし、評価結果に対するご意見をいただき外部評価としました。

外部評価依頼者

	職 名		氏 名	対象事務事業
1	教育委員	元教育長職務 代理者	松下 彰	教育委員会活動、学校教育等
2	〃	元委員	笹瀬 昌子	〃
3	教育文化部	元部長	栗田 正弘	教育委員会活動、幼児教育等
4	社会教育委員	委 員 長	中 嶋 るり子	社会教育、文化振興・生涯学習
5	小中 PTA 連絡協議会	前 会 長	粕谷 友一	学校教育
6	子ども会連合会	前 会 長	田島 織絵	社会教育
7	文化協会	会 長	伊藤 芳男	文化振興・生涯学習
8	文化財保護審議会	会 長	北原 勤	文化財
9	横地城跡保存会	会 長	福井 淳一	〃
10	スポーツ推進委員	委 員 長	安藤 正樹	スポーツ振興
11	NPO法人スポーツ協会	会 長	岩水 素江	スポーツ振興・生涯学習
12	スポーツ推進審議会	副 会 長	服部 茂和	スポーツ振興
13	図書館協議会	副 会 長	曾根 金美	図書館
14	給食センター運営委員会	前委員長	小林 茉美	学校給食
15	〃	前副委員長	田村 奈央	〃
16	公立幼稚園	元 園 長	山下 洋子	幼児教育
17	公立認定こども園	元 園 長	久島喜久江	〃

5) 公表について

公表については、菊川市のホームページに掲載するとともに、市役所本庁や小笠支所、菊川文庫、小笠図書館に報告書を置き、閲覧できるようにいたします。

2. 教育委員会の活動及び運営状況報告

1) 菊川市教育委員会 委員構成

令和4年4月1日現在

職 名	氏 名	任 期	
教 育 長	松 本 嘉 男	任期	R4.2.10~R7.2.9
		教育長任期	R4.2.10~R7.2.9
委 員 (教育長職務代理者)	赤 堀 ひ と み	任期	R4.2.10~R8.2.9
		職務代理者任期	R4.2.10~R7.2.9
委 員	笹 瀬 昌 子	任期	H31.2.10~R5.2.9
	岡 本 直 彦	任期	R3.2.10~R7.2.9
	伊 藤 り さ	任期	R2.2.10~R6.2.9

2) 菊川市教育委員会 委員構成

令和5年2月10日現在

職 名	氏 名	任 期	
教 育 長	松 本 嘉 男	任期	R4.2.10~R7.2.9
		教育長任期	R4.2.10~R7.2.9
委 員 (教育長職務代理者)	赤 堀 ひ と み	任期	R4.2.10~R8.2.9
		職務代理者任期	R4.2.10~R7.2.9
委 員	渡 邊 尚 司	任期	R5.2.10~R9.2.9
	岡 本 直 彦	任期	R3.2.10~R7.2.9
	伊 藤 り さ	任期	R2.2.10~R6.2.9

2) 令和4年度 菊川市教育委員会審議状況

(1) 菊川市教育委員会 審議案件

議案 番号	件 名	提出日		担 当 課
1	準要保護世帯の認定について	4月19日	定例会	教育総務課
2	菊川市就学支援委員会委員の委嘱について	4月19日	"	学校教育課
3	菊川市立小・中学校主任等の任命について	4月19日	"	学校教育課
4	菊川市公立学校評議員の委嘱について	4月19日	"	学校教育課
5	菊川市文芸誌検討委員会設置要綱の制定について	4月19日	"	社会教育課
6	菊川市スポーツ推進審議会委員の委嘱について	4月19日	"	社会教育課
7	菊川市スポーツ推進委員の委嘱について	4月19日	"	社会教育課
8	菊川市スポーツ委員の委嘱について	4月19日	"	社会教育課
9	菊川城館遺跡群整備委員会委員の委嘱について	4月19日	"	社会教育課
10	菊川市子ども読書活動推進協議会委員の任命について	4月19日	"	図書館
11	菊川市幼稚園評議員の委嘱について	4月19日	"	こども政策課
12	準要保護世帯の認定について	5月17日	定例会	教育総務課
13	菊川市立小笠東小学校校舎耐震補強・大規模改造工事の実施について	5月17日	"	教育総務課
14	菊川文化会館アエル大・小ホール舞台音響設備改修工事について	5月17日	"	社会教育課
15	菊川市青少年健全育成市民会議常任委員の委嘱について	5月17日	"	社会教育課
16	菊川市文芸誌検討委員会委員の委嘱について	5月17日	"	社会教育課
17	菊川市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱及び任命について	5月17日	"	教育総務課
18	令和4年度一般会計補正予算(第2号)(案)について	5月17日	"	教育文化部
19	建築工事の請負契約の締結について(令和4年度国庫補助小学校施設整備事業小笠東小学校校舎耐震補強・大規模改造工事(建築工事))	5月26日	臨時会	教育総務課
20	電気通信工事の請負契約の締結について(令和4年度市単独事業菊川文化会館アエル大・小ホール舞台音響設備改修工事)	5月26日	"	社会教育課
21	令和4年6月1日付け教育委員会に属する職員の人事異動について	5月26日	"	教育総務課
22	準要保護世帯の認定について	6月22日	定例会	教育総務課
23	菊川市教育委員会職員の時差出勤勤務制度に関する規程の一部改正について	6月22日	"	教育文化部
24	令和4年度一般会計補正予算(第4号)(案)について	6月22日	"	教育文化部
25	菊川市小中一貫教育の在り方検討会委員の委嘱について	6月22日	"	学校教育課
26	菊川市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱及び任命について	6月22日	"	教育総務課
27	準要保護世帯の認定について	7月20日	定例会	教育総務課
28	令和4年度 教育委員会の自己点検・評価報告書について	7月20日	"	教育総務課
29	菊川市立学校施設の利用に関する規則の一部改正について	7月20日	"	社会教育課
30	菊川市立学校施設使用条例施行規則の一部改正について	7月20日	"	社会教育課

議案 番号	件 名	提出日		担 当 課
31	第2次菊川市スポーツ振興基本計画策定委員の委嘱について	7月20日	定例会	社会教育課
32	準要保護世帯の認定について	8月18日	定例会	教育総務課
33	令和4年度一般会計補正予算(第5号)(案)について【教育文化部】	8月18日	〃	教育文化部
34	令和4年度一般会計補正予算(第5号)(案)について【こども未来部】	8月18日	〃	こども未来部
35	準要保護世帯の認定について	9月21日	定例会	教育総務課
36	準要保護世帯の認定について	10月19日	定例会	教育総務課
37	準要保護世帯の認定について	11月22日	定例会	教育総務課
38	令和5年度学校評価に係る市内小中学校統一項目について	11月22日	〃	学校教育課
39	令和4年度一般会計補正予算(第8号)(案)【教育文化部】について	11月22日	〃	教育文化部
40	令和4年度一般会計補正予算(第9号)(案)【教育文化部】について	11月22日	〃	教育文化部
41	準要保護世帯の認定について(新規申請)	12月20日	定例会	教育総務課
42	準要保護世帯の認定について(入学前支給申請)	12月20日	〃	教育総務課
43	指定学校変更について	12月20日	〃	学校教育課
44	菊川市歴史検定委員会要綱の制定について	12月20日	〃	社会教育課
45	菊川市文化振興計画評価委員会設置要綱の一部改正について	12月20日	〃	社会教育課
46	菊川市文化振興計画評価委員会委員の委嘱について	12月20日	〃	社会教育課
47	準要保護世帯の認定について	1月19日	定例会	教育総務課
48	菊川市歴史検定委員会委員の委嘱について	1月19日	〃	社会教育課
49	菊川市いじめ問題対策連絡協議会等条例の制定について	1月19日	〃	学校教育課
50	準要保護世帯の認定について	2月10日	定例会	教育総務課
51	令和4年度給食費の額の一部変更について	2月10日	〃	教育総務課
52	令和5年度給食実施回数について	2月10日	〃	教育総務課
53	令和5年度給食費の額について	2月10日	〃	教育総務課
54	菊川市有形文化財の指定について	2月10日	〃	社会教育課
55	令和4年度一般会計補正予算(第11号)(案)について【教育文化部】	2月10日	〃	教育文化部
56	令和5年度一般会計当初予算(案)について【教育文化部】	2月10日	〃	教育文化部
57	令和4年度一般会計補正予算(第11号)(案)について【こども未来部】	2月10日	〃	こども未来部
58	令和5年度一般会計当初予算(案)について【こども未来部】	2月10日	〃	こども未来部
59	菊川市立学校職員の自家用車の公務使用に関する取扱要綱の一部改正について	2月10日	〃	学校教育課
60	菊川市立小・中学校出勤簿整理要領の一部改正について	2月10日	〃	学校教育課
61	令和5年度教職員の人事異動について	3月2日	臨時会	学校教育課
62	準要保護世帯の認定について(新規申請)	3月23日	定例会	教育総務課

議案 番号	件 名	提出日		担 当 課
63	準要保護世帯の認定について(継続申請)	3月23日	定例会	教育総務課
64	令和5年度指定学校変更及び区域外就学について	3月23日	"	学校教育課
65	菊川市教育委員会事務局組織規則の一部改正について	3月23日	"	教育総務課
66	菊川市教育委員会専決規程の一部改正について	3月23日	"	教育総務課
67	菊川市教育振興基本計画策定委員会設置要綱の一部改正について	3月23日	"	教育総務課
68	菊川市教育委員会個人情報保護規則の廃止について	3月23日	"	教育総務課
69	令和5年度菊川市教育の方針(案)について	3月23日	"	教育総務課
70	学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について	3月23日	"	学校教育課
71	菊川市就学支援委員会規則の一部改正について	3月23日	"	学校教育課
72	菊川市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則の一部改正について	3月23日	"	学校教育課
73	菊川市立小・中学校処務規程の一部改正について	3月23日	"	学校教育課
74	菊川市立小・中学校学籍事務取扱要領の一部改正について	3月23日	"	学校教育課
75	菊川市文芸誌編集委員会設置要綱の全部改正について	3月23日	"	社会教育課
76	菊川市中央公民館開館時間及び使用時間延長の試行延長について	3月23日	"	社会教育課
77	幼稚園医、幼稚園歯科医及び幼稚園薬剤師の委嘱について	3月23日	"	こども政策課
78	令和5年4月1日付け教育委員会に属する職員の人事異動について	3月23日	"	教育総務課

令和4年度は合計で78件について審議を行いました。

(2) 菊川市教育委員会 報告事項

番号	件名	提出日		担 当 課
1	令和4年度教育委員会事務局組織及び事務について	4月19日	定例会	教育文化部
2	令和4年度こども未来部組織及び事務について	4月19日	"	こども未来部
3	令和4年度保育施設等の入所状況について	4月19日	"	こども政策課
4	教職員の不祥事根絶の取組について	5月17日	定例会	学校教育課
5	菊川市いじめ問題対策連絡協議会等条例について	6月22日	定例会	学校教育課
6	牧之原小学校及び牧之原中学校の訪問日程の決定について	6月22日	"	教育総務課
7	建築工事の請負契約の締結について(令和4年度国庫補助小学校施設整備事業小笠東小学校校舎耐震補強・大規模改造工事(建築工事))	6月22日	"	教育総務課
8	電気通信工事の請負契約の締結について(令和4年度市単独事業菊川文化会館アエル大・小ホール舞台音響設備改修工事)	6月22日	"	社会教育課
9	菊川市の教育2022について	7月20日	定例会	教育総務課
10	菊川市教育大綱の中間見直しについて	8月18日	定例会	教育総務課
11	教育委員会視察研修について	9月21日	定例会	教育総務課
12	静岡県ヤングケアラー実態調査における菊川市の結果について	9月21日	"	こども未来部

番号	件名	提出日		担 当 課
13	菊川市教育大綱の中間見直しについて	10月19日	定例会	教育総務課
14	令和4年度 菊川市教育委員会視察研修について	10月19日	〃	教育総務課
15	菊川市立小笠東小学校校舎耐震補強・大規模改修工事における変更契約について	10月19日	〃	教育総務課
16	全国学力・学習状況調査の結果について	10月19日	〃	学校教育課
17	令和5年菊川市はたちの集いについて	12月20日	定例会	社会教育課
18	文芸誌のあり方について	12月20日	〃	社会教育課
19	令和5年度菊川市教育の方針(案)について	1月19日	定例会	教育総務課
20	菊川市教育委員会委員の任命について	1月19日	〃	教育総務課
21	令和4年度卒業式・令和5年度入学式日時及び管理者(案)について	1月19日	〃	教育総務課
22	令和5年度定例教育委員会及び学校訪問等の日程(案)について	1月19日	〃	教育総務課
23	菊川市立おぞら認定こども園運営形態について	1月19日	〃	こども政策課
24	(仮称)小笠北認定こども園施設整備事業基本設計業務(経過報告)について	1月19日	〃	こども政策課
25	第2次菊川市スポーツ振興基本計画の策定について(中間報告)	1月19日	〃	社会教育課
26	菊川市子ども読書活動推進計画策定の経過と今後の予定について	1月19日	〃	図書館
27	令和4年度離任式・令和5年度着任式について	2月10日	定例会	学校教育課
28	菊川市立図書館の運営に係る意見書について(菊川市立図書館における電子図書館システムの導入に向けた意見書)	2月10日	〃	図書館
29	令和5年度定例教育委員会及び学校訪問等の日程について	3月23日	定例会	教育総務課
30	令和4年度菊川市共通数値目標に係る児童生徒アンケート結果の報告について	3月23日	〃	学校教育課
31	第2次菊川市スポーツ振興基本計画(案)の策定について	3月23日	〃	社会教育課

3) 令和4年度 教育委員会議以外の活動報告

(1) 学校及び教育施設訪問

小学校6校、中学校2校、認定こども園1園及び教育施設2箇所の訪問を実施しました。

訪問日	訪問施設	訪問日	訪問施設
5月17日	おおぞら認定こども園	10月11日	牧之原小学校・牧之原中学校
6月22日	加茂小学校	10月19日	横地小学校
7月20日	菊川文庫	11月22日	小笠北小学校
8月18日	文化会館アエル	12月20日	岳洋中学校
9月21日	六郷小学校	1月19日	堀之内小学校

(2) 会議・研修会

教育長及び教育委員を対象とした、次の会議及び研修会に参加しました。

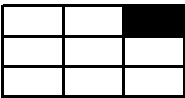
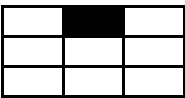
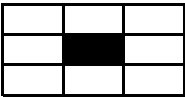
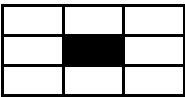
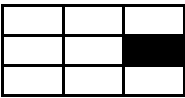
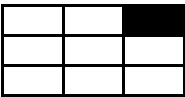
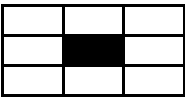
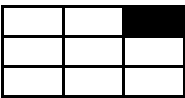
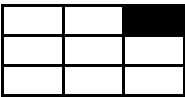
開催日	会議・研修名	出張先	出席者
4月6日	静岡県市町教育委員会教育長会	静岡市(県庁)	1名
4月8日	第1回静西教育長連絡協議会	掛川市	1名
4月18日	静岡県市町教育委員会連絡協議会総会	焼津市	書面決議
4月28日	静岡県都市教育長協議会総会	磐田市	1名
5月20日	関東地区都市教育長協議会総会	埼玉県深谷市	書面決議
5月27日	関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会	栃木県益子町	書面決議
6月13日	3市教育長会議	菊川市	1名
7月11日	第2回静西教育長連絡協議会	掛川市	1名
7月26日	3市教育長会議	菊川市	1名
7月28日	静岡県市町教育長研修会	浜松市	1名
9月21日	第1回総合教育会議	菊川市	5名
10月7日	第3回静西市町教育長連絡協議会	掛川市	1名
10月18日	3市教育長研修会	菊川市	1名
11月10～11日	菊川市教育委員会視察研修	群馬県前橋市	4名
11月21日	第4回静西市町教育長連絡協議会	掛川市	1名
11月30日	静岡県市町教育委員会研修会	オンライン開催	2名
1月12日	3市教育長会議	菊川市	1名
1月27日	静岡県市町新任教育委員研修会	オンライン開催	2名
2月2日	3市教育長会議	菊川市	1名
3月2日	第2回総合教育会議	菊川市	5名

(3) 各種行事・大会

その他、次の各種行事・大会に参加しました。

開催日		行事・大会名	
開催月	行事・大会名	開催月	行事・大会名
4月	1日:教職員着任式 5日:菊川市スポーツ少年団結団式 7日:小・中学校 入学式 9日:菊川市文化協会総会(書面決議) 17日:市長杯小学生バレーボール大会(中止) 27日:中学生ふるさと未来塾(岳洋中)	10月	5日:中学生ふるさと未来塾(菊川東中) 29・30日:菊川市文化祭
5月	15日:体力測定会&健康チェック(中止) 26日:菊川市体育協会総会 28日:市内高等学校野球大会(中止)	11月	6日:スポーツレクリエーションフェスティバル2022 13日:第23回静岡県市町対抗駅伝競走大会 菊川市選手団結団式 17日:防災講演会
6月	15日:青少年健全育成市民会議常任委員会 19日:スポーツ委員研修会	12月	3日:第23回静岡県市町対抗駅伝競走大会 10日:安全安心ひとづくり市民大会 15日:県下一斉冬季青少年街頭生活指導 18日:第18回菊川Cityマラソン(中止)
7月	1日:青少年非行・被害防止街頭キャンペーン 2日:おはなしステーション 21日:県下一斉夏季青少年街頭生活指導 29日:小笠地区社会教育委員研修会	1月	8日:令和5年菊川市はたちの集い 15日:第19回菊川市民健康駅伝競走大会(中止) 29日:第12回深蒸し茶の里'菊川ファン駅伝
8月	1日:学び続ける教員研修会 6日:菊川市陸上競技選手権大会(中止)	2月	4日:第17回菊川市書き初め展 表彰式 12日:ベタボード交流会
9月	10日:市町対抗駅伝競走大会菊川市選考記録会 14日:中学生ふるさと未来塾(菊川西中)	3月	5日:ビーチボール交流会 17日:小・中学校 卒業式 24日:市子ども会連合会総会(書面決議) 27日:教職員離任式

[自己点検・評価]

シート 1		(大項目)	教育委員会の活動	
表の見方 シート1 シート2		実現度 A B C →重要度	実現度 A=達成又はほぼ達成している。(80%以上) B=概ね達成している(60%以上80%未満) C=努力を要する。(60%未満)	重要度 A=非常に重要 B=重要 C=緊急性は低い
中項目	小項目	点検・評価		
(1)教育委員会の会議の運営改善	①教育委員会会議の開催回数	実現度↑  →重要度	・定例会を12回、臨時会を2回開催し、78件の議案について審議した。	
	②教育委員会会議の運営上の工夫	実現度↑  →重要度	・会議時間の短縮に努めた。 ・資料の事前配布を行った。 ・定例教育委員会の開催年間スケジュールを作成した。	
(2)教育委員会の会議の公開、保護者や地域住民への情報発信	①教育委員会会議の傍聴者の状況	実現度↑  →重要度	・令和4年度は、定例会に延べ1名の傍聴があった。	
	②議事録の公開、広報・公聴活動の状況	実現度↑  →重要度	・令和4年度は、会議録等の資料公開要求がなかった。	
(3)教育委員会と事務局との連携	○教育委員会と事務局との連携	実現度↑  →重要度	・教育委員会会議の開催前に事前打合せを行った。	
(4)教育委員会と首長の連携	○教育委員会と首長との意見交換会の実施	実現度↑  →重要度	・令和4年度は、総合教育会議に2回参加した。	
(5)教育委員の自己研鑽	○研修会への参加状況	実現度↑  →重要度	・研修会等に参加した。新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、書面開催やオンライン開催となったものが一部あった。 ※P9 会議・研修会参照	
(6)学校及び教育施設に対する支援・条件整備	①学校訪問	実現度↑  →重要度	・市内の市立小中学校への訪問を6校(小学校5校、中学校1校)、牧之原市菊川市学校組合立小中学校への訪問を2校(小学校1校、中学校1校)実施し、各学校の概要の把握、授業参観、フリートーク方式による意見交換を行った。	
	②所管施設の訪問	実現度↑  →重要度	・所管する教育施設への訪問を2箇所(菊川文庫、文化会館アエル)実施し、施設の概要の把握、施設内見学、フリートーク方式による意見交換を行った。	

シート 2		(大項目)	教育委員会が管理・執行する事務									
中項目	小項目	点検・評価										
(1) 教育行政の運営に関する基本方針を定めること	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td>A</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>B</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr> </table> →重要度	A			B			C	B	A	・「令和4年度 菊川市教育の方針」を策定し、教育委員及び学校長並びに幹部管理職へ説明した。	
A												
B												
C	B	A										
(2) 教育委員会規則及び規程を制定し、又は改廃すること	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度										・令和4年度は、17件の規則、要綱等の制定、改正及び廃止を行った。	
(3) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度										・当初予算案及び補正予算案を議案上程した。 ・議会の議決に付すべき契約について、議案上程した。 ・菊川市いじめ問題対策連絡協議会等条例の制定について、議案上程した。	
(4) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関を設置し、又は廃止すること	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度										・令和4年度は、議案はなかった。	
(5) 教育委員会事務局及び教育機関の職員の任免その他の人事に関すること(県費負担教職員の任免を除く)	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度										・教育委員会に属する職員の人事異動について、議案上程し、審議をした。	
(6) 県費負担に係る校長の任免その他の人事の内申に関すること	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度										・次年度学校長の人事異動案について審議し、内申を行った。	
(7) 県費負担に係る教職員の人事の内申に関すること	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度										・次年度教職員等の人事異動案について審議し、内申を行った。	
(8) 教育委員会の所管に属する各種委員会の委員の任命又は委嘱に関すること	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度										・教育委員会が任命・委嘱する人事案件はすべて上程し、審議をした。	
(9) 教科用図書採択の決定に関すること	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度										・令和4年度は、議案はなかった。	
(10) 通学区域を設定し、又は変更すること	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度										・令和4年度は、議案はなかった。	
(11) 文化財を指定し、又は指定を解除すること	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度										・令和4年度は、菊川市有形文化財の指定について議案1件(潮海寺仁王像)を上程し、審議をした。	
(12) 請願、陳情、訴訟及び異議の申立てに関すること	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度										・令和4年度は、教育委員会に対する請願、陳情、訴訟及び異議の申立てはなかった。	

シート 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

各点検評価シートの実績評価 A=十分な成果があり、施策の目的が達成された。
 B=一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。
 C=十分な成果が得られず、改善が必要である。

担当課名	番号	施策 (大分類)	ページ	
こども政策課	①	幼児教育・保育の質の向上	15	
	②	地域社会・幼稚園・保育園・認定こども園・小中学校との連携	16	
学校教育課	①	中学校区等を核とした学びの環境づくり	19	
	②	ICT環境等を生かした魅力ある授業づくり	20	
	③	思いやりに満ちた学校づくり	21	
	④	「一人ひとりが生きる教育」の推進	23	
	⑤	こころざしを持った頼もしい教職員の育成	24	
教育総務課	⑥	学校施設の適正な維持管理・耐震化・長寿命化	27	
	⑦	安全で安心して教育が受けられる環境づくり	28	
給食センター (教育総務課)	⑧	安全でおいしい給食の安定的な提供	29	
社会教育課	①	社会教育	地域で子どもを守り育てる	34
	②		家庭の教育力向上	36
	③		生涯学習活動の推進	37
	④		鑑賞機会の提供	37
	⑤		市民の文化・芸術活動への支援	38
	⑥	文化振興	文化財の保存・周知・活用	40
	⑦	スポーツ振興	誰もがスポーツに触れあう機会の創出	43
	⑧		スポーツ団体・スポーツ活動への支援	44
	⑨		スポーツ活動の場の提供	46
図書館	⑩	子どもの読書活動推進	48	
	⑪	読書機会の提供・読書活動の啓発	50	
	⑫	読書環境の整備	52	

基本目標	「豊かな心を育むまち」	
基本方針	～市民一人ひとりの豊かな個性や創造力を伸ばす～	
重点施策	1 「生きる力の基を育む園」づくり（こども未来部との連携）【幼児教育】	
施策(大分類)	施策(中分類)	個別事業(事務・事業)
① 幼児教育・保育の質の向上 (こども政策課)	(1) 子どもの発達や特性を踏まえた計画的な教育の推進と、体験を通して興味・関心・意欲をふくらめる教育の推進	ア 指導計画の更新
		イ 各種研修会・研究会の開催
		ウ 各種園行事の充実
	(2) 保護者との連携	ア 家庭教育学級への参加
		イ 保護者の保育参加の推進
		ウ PTA活動、保護者協力活動
	(3) 親子のふれあいを通した心の醸成	ア 親子行事の開催
		イ 読み聞かせ活動の推進
		ウ 図書館との連携
② 地域社会・幼稚園・保育園・認定こども園・小中学校との連携 (こども政策課)	(1) 地域社会・関係機関と連携した幼児教育の推進	ア 園行事への招待と地域行事への参加
		イ 老人クラブとのふれあい活動の推進
	(2) 幼稚園・保育園・認定こども園・小規模保育事業所との連携	ア 菊川市幼児施設連絡会との連携
		イ 小笠地区乳幼児保健会への出席
		ウ インクルーシブ教育の推進
	(3) 小中学校との交流の推進	ア 保・幼・こ・小連絡会の開催
		イ 小・中との授業研究会への参加
		ウ 小学校との交流

令和4年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	幼児教育・保育の質の向上			
施策名 (中分類)	子供の発達や特性を踏まえた計画的な教育の推進と、体験を通して興味・関心・意欲をふくらめる教育の推進【①-(1)】	担当課・係 こども政策課 幼保こども園係		
施策の目的	家庭と地域と連携して、乳幼児期の教育の目標を達成するために必要な様々な体験が豊富に得られるような環境を構成し、乳幼児期にふさわしい生活が営めるように努める。			
教育委員会による自己評価				
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・公立園における園長、・主任会を毎月、学年部会を年間2回開催し、職員の質の向上を図る。 ・各園において、入園式、七五三祝い、修了式、卒園式を実施し、交流事業として、2園交流会を実施する。 			
令和4年度実績評価 (施策評価)	<p>各種研修会・部会を年間2回開催し、保育課題を共通理解するとともに、園運営や経営の充実が図られた。また、園行事・交流会を計画通り実施して、親子関係や友達関係を深めることができた。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table>		A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。			
令和3年度実績評価	各種研修会・研究会により職員の保育力を向上し、園の運営や経営の充実が図られた。また、園行事・交流会をとおして親子関係や友達関係を深めることができた。			
今後の取組課題 又は改善点	研修会参加の回数を増やすことで、子ども一人ひとりに応じた保育を充実させるとともに、職員の保育力を向上していく。			

施策名 (大分類)	幼児教育・保育の質の向上			
施策名 (中分類)	保護者との連携【①-(2)】	担当課・係 こども政策課 幼保こども園係		
施策の目的	親子のふれあい活動を取り入れて、子育ての楽しさを感じたり、保護者同士が悩みを話し合ったり、子育ての情報を共有・提供したりして、子育てやしつけについて学ぶ場を提供する。			
教育委員会による自己評価				
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・各園の年間計画に従って、年間2回、参観会や懇談会を実施する。 			
令和4年度実績評価 (施策評価)	<p>各園、年間2回以上の参観会や懇談会を実施し、園での様子から個々の育ちに共感したり、子育てについての悩みを相談したりすることで、よりよい親子関係が築けるようにした。また、保護者同士の関わりも広まった。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table>		A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。			
令和3年度実績評価	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、「ふれあいの日」が実施できなかった。代わりとして参観時には、親子のふれあい活動を取り入れて、子育ての楽しさを感じたり、保護者同士が悩みを話し合ったり、子育ての情報を提供したりして、子育てやしつけについて学ぶ場を提供することができた。			
今後の取組課題 又は改善点	昨年度までのコロナ禍により、保護者同士のコミュニケーションが希薄となっているので、子育てについての悩みや不安を相談する場も少なくなっている。参観会等で引き続き情報共有を行い、家庭や地域との連携に取り組んでいく。			

令和4年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	幼児教育・保育の質の向上	
施策名 (中分類)	親子のふれあいを通した心の醸成 【①-(3)】	担当課・係 こども政策課 幼保こども園係
施策の目的	親子でふれあいながら活動することにより、絆を深め子どもの心の安定を図るとともに、絵本を用いた読み聞かせ活動を通して、絵本の楽しさを深め、自己肯定感をもてるようにする。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> 各園の計画に従って、親子での行事として、運動会、お楽しみ会等を開催する。 保護者が園に出向いての読み聞かせ、保護者の有志サークルによる読み聞かせ、家庭による読み聞かせ、園の絵本貸出による読み聞かせを実施する。 	
令和4年度実績評価 (施策評価)	<p>行事等の開催を通して、親子でふれあう機会となり、親子関係が深まったり心の安定を図ることができた。様々な方による読み聞かせを実施したことで、想像力が育まれた。</p>	
	A	<p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。</p> <p>B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。</p> <p>C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p>
令和3年度実績評価	運動会、お楽しみ会等を開催し、親子でふれあいながら活動できた。また、読み聞かせをすることで、絆を深め、子どもの心の安定や心の醸成を図ることができた。	
今後の取組課題 又は改善点	絵本を通して親子のふれあいの時間をつくったり、読み聞かせの大切さを伝えたりし、絵本の貸し出しの機会を増やしていく。	

施策名 (大分類)	地域社会・私立幼稚園・保育園・認定こども園・小中学校との連携	
施策名 (中分類)	地域社会・関係機関と連携した幼児教育の推進 【②-(1)】	担当課・係 こども政策課 幼保こども園係
施策の目的	地域の行事に園児が参加したり、防災の連携をしたりして地域との関わりを大切にすること。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方と収穫物を収穫したり、地区センター祭りや防災訓練に参加したりし、ふれあい活動の推進をする。 	
令和4年度実績評価 (施策評価)	<p>地域の方のご厚意で、一緒にたけのこ堀りや栗拾い等をし、ふれあい体験ができた。また、地域の防災訓練に参加し、地域の方との関わりができた。地区センター祭りについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加を見合わせることにした。</p>	
	B	<p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。</p> <p>B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。</p> <p>C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p>
令和3年度実績評価	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、地域の方の園行事への参加は、見合わせることにしたが、地域の方のご厚意により、芋堀りやたけのこ堀り等に参加することができ、ふれあいながら体験できた。降園方向別のパトロールについては、徒歩通園から保護者の送迎による通園となったため、実施しなかった。	
今後の取組課題 又は改善点	新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行することから、地域に出かける機会を増やしていき、様々な方とのふれあい活動を実施していく。	

令和4年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	地域社会・私立幼稚園・保育園・認定こども園・小中学校との連携	
施策名 (中分類)	幼稚園・保育園・認定こども園との連携 【②-(2)】	担当課・係 こども政策課 幼保こども園係
施策の目的	公立園・私立幼稚園・民間保育所・認定こども園が幼児施設連絡会での研修会や園長会を通して互いの理解を図るとともに、職員の資質向上を図る。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	幼児施設連絡会が主催する、園長会や各種研修会に出席し、各園や教育委員会と連携を図る。	
令和4年度実績評価 (施策評価)	園長会での各園の情報交換や、各種研修会に参加することで、運営について配慮すべき事項の共通理解や、研修による職員の資質向上を図ることができた。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和3年度実績評価	私立園・民間保育所と幼児施設連絡会での研修会や園長会により互いの理解を図るとともに、研修により職員の資質向上を図ることができた。	
今後の取組課題 又は改善点	私立園・民間保育所と教育についての課題を明確にし、研修への参加や教育要領に基づいた幼児の発達を共通理解するための情報交換を引き続き実施していく。	

施策名 (大分類)	地域社会・私立幼稚園・保育園・認定こども園・小中学校との連携	
施策名 (中分類)	小中学校との交流の推進 【②-(3)】	担当課・係 こども政策課 幼保こども園係
施策の目的	生涯の人間形成の基となる幼児期の教育の重要性を多くの人に理解してもらうため、幼稚園・保育園が互いに横の連携を取りながら、子どもの育ちを小学校、中学校へとつなげる。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	・小学校との連携を図るため、保幼小連絡会に出席する。また、園の公開保育を実施する。 ・小学生と1日入学やオンラインでの交流を行う。	
令和4年度実績評価 (施策評価)	保幼小連絡会に出席し、公開保育を実施することで、入学前の子どもの様子を共通理解し、園から小学校への接続が円滑にできた。また、小学生とのオンライン交流を行い、小学生に親しみをもつことができた。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和3年度実績評価	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、夏祭り、ありがとうの会等での交流はできなかった。保幼小連絡会を行うことにより、入学前の子どもの引継ぎや、園から小学校への接続が円滑にできた。	
今後の取組課題 又は改善点	1人ひとりの育ちが確実に小学校に接続できるよう、今後も公開保育、連絡会への参加等を積極的に実施していく。	

基本目標	「豊かなこころを育むまち」		
基本方針	～市民一人ひとりの豊かな個性や創造力を伸ばす～		
重点施策	2 「確かな学力と思いやりに満ちた学校」づくり【学校教育】		
施策(大分類)	施策(中分類)	個別事業(事務・事業)	
① 中学校区等を核とした学びの環境づくり (学校教育課)	(1) 小中一貫教育「学びの庭」構想の推進	ア 地域・学校間連携の推進及び学校間交流の促進	
		イ 学舎運営協議会の開催	
		ウ 地域学校協働活動推進事業	
		エ 菊川型「小中一貫教育カリキュラム」の作成	
		オ 小中一貫教育の在り方の検討	
	(2) 豊かな学びを支える環境づくりの推進	ア 学校間連携の推進	
		イ 環境教育、食育、キャリア教育の推進	
		ウ 「地域の財を生かした教育」の推進	
② ICT環境等を生かした魅力ある授業づくり (学校教育課)	(1) 「きくがわ21世紀型授業」の推進	ア 学校訪問による授業改善支援	
		イ 1人1台端末を効果的に活用するICT活用研修(各校)の推進	
		ウ 各種研修会の開催	
		エ 全国学力学習状況調査の分析、学力向上対策委員会	
		オ 新学習指導要領の確実な実施	
	(2) 英語力の向上	ア 英語指導助手、英語支援講師の配置	
		イ 教職員研修の開催	
	(3) 教育の情報化の推進	ア 校務の情報化の推進	
		イ 菊川市情報教育モデルカリキュラムの活用	
		ウ ICT推進委員会の開催	
	③ 思いやりに満ちた学校づくり (学校教育課)	(1) 魅力ある学校づくり	ア PDCAサイクルに基づく組織的な取り組み
			イ 学校いじめ防止基本方針に沿った対応
ウ 人権教育、福祉教育の実践			
(2) 「心の教育」の推進		ア 「特別な教科・道徳」の確かな推進	
		イ 全教育活動を通じた「心の教育」の推進	
(3) 児童・生徒の心に寄り添う支援		ア 適応指導教室の運営	
		イ こころの教室相談員の配置	
④ 「一人ひとりが生きる教育」の推進 (学校教育課)		(1) 特別支援教育の推進	ア 就学支援委員会の開催
			イ 巡回相談及び教育相談の実施
	ウ 学級・学校支援員の配置		
	エ 教職員研修の充実		
	(2) 外国人児童生徒への教育支援	ア 外国人児童生徒就学支援	
		イ 外国人支援員の配置	
		ウ 外国人担当者研修会の開催	
	(3) 安全教育の充実	ア 自分の命は自分で守る防災教育	
		イ 交通安全教育	
ウ 学校安全教育			
⑤ こころざしを持った頼もしい教職員の育成 (学校教育課)	(1) 教職員育成指導	ア 各種研修会の開催	
		イ 学校訪問による教職員指導	
	(2) 教職員の人事及び評価	ア 教職員人事評価の実施	
		イ 教員免許状の更新指導、新たな研修制度の推進	
	(3) 円滑な学校運営の推進	ア 学校評価の活用	
		イ 教職員の労働安全衛生管理	
		ウ 危機管理意識の醸成	

令和4年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	中学校区等を核とした学びの環境づくり	
施策名 (中分類)	小中一貫教育「学びの庭」構想の推進【①-(1)】	担当課・係 学校教育課 学校政策係
施策の目的	小・中学校の「たての接続」と学校・地域社会の「よこの連携」、「地域の財を生かした教育」を基本理念とした「学びの庭」構想を推進する。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	・学舎運営協議会(岳洋・菊西・菊東)を年2回ずつ開催する。	
令和4年度実績評価 (施策評価)	各学舎とも年間2回の学舎運営協議会を実施した。岳洋学舎においては、各部会が組織され、各々で活動が実施された。菊西学舎及び菊東学舎においては、各学校の取組状況の報告やテーマを設定し、グループ協議を行った。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和3年度実績評価	岳洋学舎をモデルにし、菊西学舎、菊東学舎での運営がスタートした。菊西学舎、菊東学舎においては、運営初年度ということで、学舎の特色や強み、課題を共有し、整理し、実態に合った組織の設置や学舎での具体的な取組について話し合った。各学舎とも年間2回の学舎運営協議会を実施した。	
今後の取組課題 又は改善点	岳洋学舎運営協議会の運営をより活性化していく。菊西学舎及び菊東学舎については、学舎の特色を生かし、学舎単位の取組の充実をサポートしていく。地域との連携については、可能な限り学校が主体的に動くことが望ましいが、その分負担も高まるため、コーディネーターとの更なる協働を目指していく。今後は学舎運営協議会をコミュニティ・スクール化するための検討を進めていく。	

施策名 (大分類)	中学校区等を核とした学びの環境づくり	
施策名 (中分類)	豊かな学びを支える環境づくりの推進【①-(2)】	担当課・係 学校教育課 学校指導係
施策の目的	文化的体験や、菊川市の地域の力を生かし、心身共に健全な児童・生徒を育成する。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	・小学校演劇鑑賞会、特別支援学級交流会、中学生向けの企業説明会を実施する。 ・環境教育推進研修会、食育連絡会を実施する。	
令和4年度実績評価 (施策評価)	新型コロナウイルス感染症への対策をしつつ、ICT機器等を活用した実施方法をさぐり、できる範囲内で工夫をして事業を行った。中学生向けの企業説明会では、学校教育課指導主事が事前学習の講師を務め、本事業の趣旨を改めて明確にした上で、企業説明会を実施することができ、生徒が地域で働くことを身近に考える機会となった。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和3年度実績評価	新型コロナウイルス感染症への対策をしつつ、ICT機器等を活用した実施方法をさぐり、できる範囲内で工夫をして事業を行った。中学生向けの企業説明会では、新たな企業の発掘もなされ、生徒が地域で働くことを身近に感じる機会となった。	
今後の取組課題 又は改善点	新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行することを受け、それぞれの事業を参集形式で実施すべきか、オンライン配信、オンデマンド配信の形式で実施するかを精査し、事業の目的と効果を最大限に発揮する方法を検討する必要がある。	

令和4年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	ICT環境を生かした魅力ある授業づくり	
施策名 (中分類)	「きくがわ21世紀型授業」の推進【②-(1)】	担当課・係 学校教育課 学校指導係
施策の目的	一人ひとりに「確かな学力」をつけるため、主体的・対話的で深い学びのある授業「きくがわ21世紀型授業」づくりを推進する。情報教育機器の効果的な活用について研究を進め、楽しく、分かる授業を目指す。また、全国学力・学習状況調査の分析を基に、求められている学力や菊川市の子供の課題を明確にして授業改善に取り組む。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修主任研修会、教務主任研修会、初任者研修会を開催する。 ・全国学力・学習状況調査の分析を行い、学力向上対策委員会を開催する。 	
令和4年度実績評価 (施策評価)	研修主任研修会、教務主任研修会、初任者研修会及び学力向上対策委員会を計画通り開催した。「授業が分かる」と答える児童生徒の割合は、小学校93%・中学校87.8%であり、授業でICTを活用して指導できると答える教員は、調査項目すべてで90%を上回った。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和3年度実績評価	研修主任研修会、教務主任研修会、初任者研修会及び学力向上対策委員会を計画通り開催した。「授業が分かる」と答える児童生徒の割合は、小学校91.9%・中学校87.4%であり、授業でICTを活用して指導できると答える教員は、調査項目すべてで95%を上回り、県平均65.7%を大きく上回った。	
今後の取組課題 又は改善点	次年度は研究推進校を決め、「ICTを日常的に活用した令和の学び研修会」を実施し、さらなる授業改善を進め、児童生徒が資質・能力をつけることができる授業づくりを目指していく。	

施策名 (大分類)	ICT環境を生かした魅力ある授業づくり	
施策名 (中分類)	英語力の向上【②-(2)】	担当課・係 学校教育課 学校指導係
施策の目的	小中学校における外国語によるコミュニケーション能力向上と、教員の指導力向上を図る。また、授業以外でも、小学校段階から英語に触れる機会を増やし、菊川を訪れる人に英語でおもてなしできる人材を育成する。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・英語指導助手、英語支援講師を配置する。 ・外国語活動教員等を対象にした研修会を実施する。 	
令和4年度実績評価 (施策評価)	小学校全校に英語支援指導助手または英語支援講師を配置した。外国語活動研修会は、掛川市教育委員会の宮崎指導主事を講師に招き、小学校英語と中学校英語とのつながりについて学ぶことができた。また、学舎ごとALTや英語支援講師との意見交換の機会を設定し、今後の英語の授業の充実に向けての環境整備について、有意義な意見交換を行うことができた。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和3年度実績評価	小学校全校に英語支援指導助手または英語支援講師を配置した。ALTや英語支援講師との意見交換の機会を設定し、今後の英語の授業の充実に向けての環境整備について、有意義な意見交換を行うことができた。計画していた外国語活動研修会はコロナウイルス感染症対策により中止せざるを得なかった。各校においてICT機器を活用し、学校間の交流や外国人とコミュニケーション活動を行うことで、学んだ力を活用し、向上させることができた。	
今後の取組課題 又は改善点	小学校での学習をスムーズに中学校へつなげられるよう、研修方法や支援員、ALTの活用等について研究を進める。	

令和4年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	ICT環境を生かした魅力ある授業づくり	
施策名 (中分類)	教育の情報化の推進【②-(3)】	担当課・係 学校教育課 学校政策係
施策の目的	情報教育機器を効果的に活用し、一人ひとりに「確かな学力」をつけるため、主体的・対話的で深い学びのある「きくがわ21世紀型授業」づくりを推進する。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	・ICT推進委員会を年3回実施する。	
令和4年度実績評価 (施策評価)	ICT推進委員会を5月、10月、1月の計3回実施した。各校においてICT推進委員が中心となって、菊川市の一人一台端末の活用における成果と課題を協議し、今後のさらなる活用に向けた環境整備についての検討と効果的な授業の在り方について理解を深めることができた。また、学舎ごとのグループワークを通じて、学舎ごとの取り組みを考えることもできた。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和3年度実績評価	ICTを活用した授業案等を各校5例以上、合計65例集約することができ、各校の授業で、積極的な活用がなされた。ICT推進委員会を計画通り年3回実施し、各校においてICT推進委員が中心となって、菊川市の一人一台端末の活用における成果と課題を協議し、今後のさらなる活用に向けた環境整備についての検討と効果的な授業の在り方について理解を深めることができた。	
今後の取組課題 又は改善点	学校ネットワークの脆弱課題の解決やGIGAスクール構想の推進等、研究課題が山積しているため、ICT推進委員会を通して市内学校で情報を共有して解決方法を協議していく。	

施策名 (大分類)	思いやりに満ちた学校づくり	
施策名 (中分類)	魅力ある学校づくり調査研究事業【③-(1)】	担当課・係 学校教育課 学校指導係
施策の目的	思いやりに満ちた学校づくりを進めるために、人権教育や福祉教育の実践を進め、いじめのない学校経営を推進する。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	・魅力ある学校づくり研修会、学び続ける教員研修会を実施する。	
令和4年度実績評価 (施策評価)	魅力ある学校づくり研修会を年3回、学び続ける教員研修会を1回開催した。魅力ある学校づくりに取り組むことで、不登校対策においては未然防止と初期対応が重要であることを市内全教職員で再確認できた。また、第2回魅力ある学校づくり研修会を岳洋中学校で開催し、令和元年度よりモデル地区として実践を積んできた岳洋中学校の取組と生徒の実態を共有することで、各校担当者が実践を広め、自校の教育活動を子どもたちの声をもとに見直す視点を持つことができた。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和3年度実績評価	魅力ある学校づくり研修会を年3回、学び続ける教員研修会を1回開催した。魅力ある学校づくり調査研究事業に取り組むことで、不登校対策においては未然防止と初期対応が重要であることを市内全教職員で再確認できた。モデル校区(岳洋中学校区)の取組をもとに、全中学校区へ実践を広め、自校の教育活動を子どもたちの声をもとに見直す視点を持つことができた。	
今後の取組課題 又は改善点	各校の担当者向けの研修機会だけに留まらず、各校の校内研修等にも積極的に参加し、多くの職員が、魅力ある学校づくりへの理解を深め、各校における職員の理解度の差が、取組の温度差につながらないように、支援をしていく。	

令和4年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	思いやりに満ちた学校づくり	
施策名 (中分類)	「心の教育」の推進【③-(2)】	担当課・係 学校教育課 学校指導係
施策の目的	特別な教科・道徳の完全実施に向けて、道徳科の指導が確実に実施されるように、また、質の高い指導方法や評価についての研究を進めながら授業実践を進める。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	・教務主任研修会で、道徳教育の全体計画や道徳科の年間指導計画、教材、指導方法、評価についての情報共有を行う。	
令和4年度実績評価 (施策評価)	教務主任研修会で、道徳教育の全体計画も含めたカリキュラムマネジメントシートの作成を行った。また、年間指導計画、教材、指導方法、評価については道徳科を含め全教科分において提出を依頼し、共有した。これらにより、特別な教科である道徳への理解が深まった。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和3年度実績評価	教務主任研修会で、道徳教育の全体計画についてカリキュラムマネジメントシートによる情報共有を行った。また、年間指導計画、教材、指導方法、評価については道徳科を含め全教科分において提出を依頼し、共有した。これらにより、特別な教科である道徳への理解が深まった。	
今後の取組課題 又は改善点	道徳的価値に迫るために、道徳教育の計画を見直したり、カリキュラムマネジメントに取り込んだり、さらに実践を積み重ねたりして、研修を深める必要がある。	

施策名 (大分類)	思いやりに満ちた学校づくり	
施策名 (中分類)	児童・生徒の心に寄り添う支援【③-(3)】	担当課・係 学校教育課 学校指導係・学校政策係
施策の目的	一人ひとりに寄り添った支援を推進する。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	・適応指導教室「このゆびと～まれ」を運営する。 ・市内3中学校に心の教室相談員を配置する。	
令和4年度実績評価 (施策評価)	適応指導教室においては、定期的に教室を利用した児童生徒19人のうち、19人を学校復帰及び上級学校進学につなげることができた。また、23件の教育相談を受け、児童・生徒・保護者にとって、気軽に相談できる場であるとともに、通う子どもにとって「心がほっとする、心の居場所」となった。市内3中学校に心の教室相談員を配置し、各校において生徒の相談にのったり、別室登校の生徒への対応をしたりするなどした。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和3年度実績評価	適応指導教室においては、定期的に教室を利用した児童生徒14人のうち、6人を学校復帰及び上級学校進学につなげることができた。また、42件の教育相談を受け、児童・生徒・保護者にとって、気軽に相談できる場であるとともに、通う子どもにとって「心がほっとする、心の居場所」となった。市内3中学校に心の教室相談員を配置し、各校において生徒の相談にのったり、別室登校の生徒への対応をしたりするなどした。	
今後の取組課題 又は改善点	適応指導教室相談員と学校(心の教室相談員)との連携体制を強化し、さらにきめ細やかな指導・支援につなげる。	

令和4年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	「一人ひとりが生きる教育」の推進			
施策名 (中分類)	特別支援教育の推進【④-(1)】	担当課・係 学校教育課 学校指導係		
施策の目的	育児や発育に対して支援の必要な全てのの子供のために、個を大切にした教育をさらに推進し、心の教育を充実させて、「一人ひとりが生きる教育」を進めていく。各園・学校における体制整備及び関係部局や機関の連携協力を図り、教育・医療・保健・福祉・労働との連携を強化し、乳幼児期から就労に至るまでの一貫した支援体制を整備する。			
教育委員会による自己評価				
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回相談員等による専門家チーム会議、巡回相談及び教育相談を実施する。 ・学級学校支援員をすべての学校に配置する。 			
令和4年度実績評価 (施策評価)	<p>すべての小中学校に学級学校支援員を配置し、各校のニーズに応じた支援を行った。適切な就学支援を行うために、学校・園訪問等をして園児児童生徒の状況を把握し、保護者に情報提供したり相談に応じたりした。また、園児については保護者・園担任等との特別支援学級見学に同行し、情報共有に努めた。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table>		A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。			
令和3年度実績評価	<p>すべての小中学校に学級学校支援員を配置し、各校のニーズに応じた支援を行った。適切な就学支援を行うために、学校・園訪問等をして園児児童生徒の状況を把握し、保護者に情報提供したり相談に応じたりした。また、園児については保護者・園担任等との特別支援学級見学に同行し、情報共有に努めた。</p>			
今後の取組課題 又は改善点	<p>特別な支援を必要とする園児児童生徒が増加する中、一人ひとりのニーズに合った支援・指導を適切に行う必要がある。</p>			

施策名 (大分類)	「一人ひとりが生きる教育」の推進			
施策名 (中分類)	外国人児童生徒への教育支援【④-(2)】	担当課・係 学校教育課 学校指導係		
施策の目的	外国人児童生徒の在籍する学校に支援員を配置し、日本語指導とともに学習・生活支援を行い、校内での学習や学校生活が円滑に進むようにする。「学校が楽しい」と答える児童生徒を90%以上とする。			
教育委員会による自己評価				
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校へ外国人支援員を配置する。 ・外国人担当者研修会を開催する。 			
令和4年度実績評価 (施策評価)	<p>外国人担当者研修会を実施し、県日本語支援コーディネーターからの講話をもとに、日本語支援についての理解を深めることができた。また、支援が必要な外国籍児童生徒に対し、各学校への支援員の配置や「虹の架け橋」入級により学校生活に適応しやすい環境づくりが図られた。「学校が楽しい」と答えた児童92.9%、生徒95.5%であった。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table>		A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。			
令和3年度実績評価	<p>外国人担当者研修会を実施し、県日本語支援コーディネーターからの講話をもとに、日本語支援についての理解を深めることができた。また、支援が必要な外国籍児童生徒に対し、各学校への支援員の配置や「虹の架け橋」入級により学校生活に適応しやすい環境づくりが図られた。「学校が楽しい」と答えた児童94.1%、生徒92.3%であった。</p>			
今後の取組課題 又は改善点	<p>外国人児童生徒の編入が増加する中、児童生徒への支援体制や教職員・支援員等への研修を充実させ、学校体制で支援・指導する必要がある。</p>			

令和4年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	「一人ひとりが生きる教育」の推進	
施策名 (中分類)	安全教育の充実【④-(3)】	担当課・係 学校教育課 学校指導係・学校政策係
施策の目的	安心して学校に通える環境づくりを進めるために、学校の危機管理体制の向上を図り、児童生徒の安全意識を高める。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校安全総合支援事業を活用し、防災教育等の推進を図る。 ・通学路安全点検及び通学路安全対策検討会を実施する。 	
令和4年度実績評価 (施策評価)	<p>学校の危機管理体制の整備として、①常葉大学木宮先生を招いて各学校の防災マニュアルを比較し、改善点の洗い出し、②学び続ける研修会を開催し、教職員に対する基本的な知識の植え付け、③東北大学保田講師を招いて減災教育の実施、④被災体験の講演会を実施した。</p> <p>また、全小学校において、通学路安全点検を行い、それを基に通学路安全対策検討委員会を開催し、教育委員会と警察、道路管理者等で市内全体の安全対策を検討し、対策を実施した。</p>	
	A	<p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。</p> <p>B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。</p> <p>C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p>
令和3年度実績評価	<p>学校の危機管理体制の整備として、全小中学校で学校地震防災等対策マニュアルを見直し、危機管理課の指導を受け風水害時の避難確保計画を作成した。</p> <p>全小学校において、通学路安全点検を行い、それを基に通学路安全対策検討委員会を開催し、教育委員会と警察、道路管理者等で市内全体の安全対策を検討し、対策を実施した。</p>	
今後の取組課題 又は改善点	令和4年度においては菊西学舎の4校のみの減災教育の実施のため、残りの8学校にも展開し、また、各学校の防災マニュアル統一化を進める。	

施策名 (大分類)	こころざしを持った頼もしい教職員の育成	
施策名 (中分類)	教職員育成指導【⑤-(1)】	担当課・係 学校教育課 学校指導係
施策の目的	児童生徒、保護者や地域から信頼される教職員を育成するために、各種研修会を開催するとともに、学校訪問による教職員指導を実施する。(「学校に信頼することのできる先生がいる」と答える児童生徒の割合、小学校91%中学校85%以上を目指す。)	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	「学校に信頼することのできる先生がいる」と答える児童生徒の割合を、小学校91%以上、中学校85%以上とする。	
令和4年度実績評価 (施策評価)	<p>各種研修会の実施や学校訪問指導により、教職員の資質を高めるとともに、信頼される学校づくりができた。「学校に信頼することのできる先生がいる」と答える児童生徒の割合は、小学校94.8%、中学校88.9%であり、小中学校ともに、目標値を上回ることができた。</p>	
	A	<p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。</p> <p>B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。</p> <p>C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p>
令和3年度実績評価	<p>各種研修会の実施や学校訪問指導により、教職員の資質を高めるとともに、信頼される学校づくりができた。「学校に信頼することのできる先生がいる」と答える児童生徒の割合は、小学校94.1%、中学校88.3%であり、小中学校ともに、目標値を上回ることができた。</p>	
今後の取組課題 又は改善点	各研修会について、それぞれの職に応じ、教師としての力量を高めることができるよう、さらに内容を工夫して行う。	

令和4年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	こころざしを持った頼もしい教職員の育成			
施策名 (中分類)	教職員の人事及び評価【⑤-(2)】	担当課・係 学校教育課 学校指導係		
施策の目的	新たな人事評価により、教職員の前向きな取り組みを促し、資質能力の向上や組織の活性化につなげる。また、教職員免許更新制度を利用し、教職員の指導力向上に努める。			
教育委員会による自己評価				
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員人事評価における自己目標シート及び職務評価シートの活用並びに管理職による面談を実施する。 ・教職員免許更新対象者の状況把握及び受講、更新手続きについて助言を行う。 			
令和4年度実績評価 (施策評価)	<p>教職員人事評価は、夏に校長面談を実施し、年度末にも二度目の校長面談を実施することで、適正に行うことができた。また、教員免許更新制が廃止となり、令和5年度から新たな教員研修が義務付けられることに伴い、正確な情報収集に努め、教員への周知を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table>		A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。			
令和3年度実績評価	教職員人事評価に対し、全校で前向きな評価が実施された。また、教職員免許更新についても、対象である第2グループ22人の更新がすべて終了した。これらの事業により、教職員の資質能力を向上させることができた。			
今後の取組課題 又は改善点	教職員の新たな教員研修については、令和5年度中にさらなる情報提供がなされることが見込まれるため、引き続き情報収集に努め、教員への周知を行う。			

施策名 (大分類)	こころざしを持った頼もしい教職員の育成			
施策名 (中分類)	円滑な学校運営の推進【⑤-(3)】	担当課・係 学校教育課 学校指導係		
施策の目的	学校評価を活用するとともに、地域との連携を密にすることにより、円滑な学校運営を推進し、地域から信頼される学校経営を実施する。			
教育委員会による自己評価				
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・各校で学校評価を行い、学校運営改善に活かす。また、評価結果を各学校ホームページ等により公開する。 			
令和4年度実績評価 (施策評価)	<p>全小中学校において各学校の経営方針や重点的な活動について、学校職員・児童生徒・保護者の3者での学校評価を年2回行った。評価結果によりPDCAサイクルを生かした学校運営を行った。評価結果については、学校だよりとして保護者・地域に発信するとともに全校ホームページで公開している。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table>		A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。			
令和3年度実績評価	全小中学校において各学校の経営方針や重点的な活動について、学校職員・児童生徒・保護者の3者での学校評価を年2回行った。評価結果によりPDCAサイクルを生かした学校運営を行った。評価結果については、学校だよりとして保護者・地域に発信するとともに全校ホームページで公開している。			
今後の取組課題 又は改善点	学校評価について、市共通項目の見直しを行い、各学校ごとの目標から各学舎ごとの目標を設定するよう連携を進める。			

基本目標	「豊かなこころを育むまち」		
基本方針	～市民一人ひとりの豊かな個性や創造力を伸ばす～		
重点施策	2 「確かな学力と思いやりに満ちた学校」づくり【学校教育】		
施策(大分類)	施策(中分類)	個別事業(事務・事業)	
⑥ 学校施設の適正な維持管理・耐震化・長寿命化 (教育総務課)	(1) 学校施設の適正な維持管理	ア 学校施設・設備の維持管理 イ 国庫及び県費補助・市単独事業の実施	
	(2) 学校施設整備	ア 小笠東小学校校舎耐震補強・大規模改造工事	
	(3) 学校施設の長寿命化	ア 施設整備計画の推進	
⑦ 安全で安心して教育が受けられる環境づくり (教育総務課)	(1) 教室環境の整備	ア 校用備品の整備 イ ICT機器の整備・更新 ウ 屋内運動場におけるLED照明への取替の検討	
		(2) 家庭への支援	ア 就学支援事業の実施 イ 特別支援教育就学奨励事業の実施
	⑧ 安全でおいしい給食の安定的な提供 (教育総務課)	(1) 安心・安全なおいしい給食作りの実施	ア 給食献立作り及び使用食材の発注 イ 食物アレルギーへの対応 ウ 民間委託による安定した調理業務の実施
(2) 食育及び地産地消の推進			ア 栄養士による食育指導の実施 イ ふるさと給食週間等の実施による地産地消の推進
			(3) 安定した給食業務の実施

令和4年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	学校施設の適正な維持管理・耐震化・長寿命化			
施策名 (中分類)	学校施設の適正な維持管理 【⑥-(1)】	担当課・係 教育総務課 施設係		
施策の目的	小・中学校の教育活動が支障なく行われるよう、学校教育環境の計画的な整備を実施する。また、学校環境を良好な状態に保つため、施設や設備の適切な維持管理を実施する。			
教育委員会による自己評価				
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の施設の維持管理を適切に行う。また、法令に基づく点検作業や営繕を実施する。 ・小規模な施設整備工事や営繕工事を計画的かつ効率的に実施する。 			
令和4年度実績評価 (施策評価)	<p>計画的かつ効率的な発注を実施、児童・生徒の安全を最優先に事業実施できた。また、県費補助を活用し経年劣化したガラス飛散防止フィルムの張替えを実施し、施設・設備の健全化が図られた。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table>		A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。			
令和3年度実績評価	計画的かつ効率的な発注を実施、児童・生徒の安全を最優先に事業実施できた。また、県費補助を活用し経年劣化したガラス飛散防止フィルムの張替えを実施し、施設・設備の健全化が図られた。			
今後の取組課題 又は改善点	施設・設備の老朽化が全般的に進んでいる。高額な修繕に対応する件数が増えてきており、予防的修繕を検討し、経費の縮減を図っていく必要がある。			

施策名 (大分類)	学校施設の適正な維持管理・耐震化・長寿命化			
施策名 (中分類)	学校施設整備 【⑥-(2)】	担当課・係 教育総務課 施設係		
施策の目的	耐震力がやや劣る校舎の耐震補強に併せ、トイレの洋式化やLED照明への改修を実施し、良好な教育環境の確保に努める。			
教育委員会による自己評価				
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	・小笠東小学校校舎の耐震補強及び大規模改造工事を実施する。			
令和4年度実績評価 (施策評価)	<p>小笠東小学校校舎耐震補強・大規模改造工事を実施したことにより、耐震性の向上に加え、良好な教育環境が確保できた。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table>		A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。			
令和3年度実績評価	小笠南小学校校舎耐震補強・大規模改造工事を実施したことにより、耐震性の向上に加え、良好な教育環境が確保できた。			
今後の取組課題 又は改善点	市内小中学校の校舎などには、耐震性のやや劣る棟が確認されているため、引き続き耐震補強事業を実施し、耐震性の向上に取り組む必要がある。			

令和4年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	安全で安心して教育が受けられる環境づくり	
施策名 (中分類)	教室環境の整備 【⑦-(1)】	担当課・係 教育総務課 施設係
施策の目的	児童生徒が健やかに伸びていく学校環境の充実に向け、教育課程に基づいた授業等に 必要な教材・教具等を効率的に購入する。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	・屋内運動場照明取替工事(LED化)における整備方針及び整備費用等の検討を行う。	
令和4年度実績評価 (施策評価)	市内5小学校において、屋内運動場照明取替工事(LED化)工事实施設業務委託を実施し、 屋内運動場への照明取替(LED化)に伴う整備方針及び整備費用等の検討を行った。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和3年度実績評価	市内4小中学校において、特別教室空調機設置工事实施設業務委託を実施し、特別 教室への空調機器設置に伴う整備方針及び整備費用等の検討を行った。	
今後の取組課題 又は改善点	令和5年度より屋内運動場照明取替工事(LED化)を開始していく。学校活動や部活動、 夜間開放などとの日程調整が重要になってくる。	

施策名 (大分類)	安全で安心して教育が受けられる環境づくり	
施策名 (中分類)	家庭への支援 【⑦-(2)】	担当課・係 教育総務課 総務係
施策の目的	学校教育の機会均等の精神に基づき、経済的理由等により就学が困難な家庭に対し、 学用品費や通学用品費、学校給食費などを援助し、保護者の経済的な負担軽減及び円 滑な就学を図る。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	・経済的な理由により、就学が困難な児童生徒の保護者に対し、就学援助費を支給する。 ・特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し、特別支援教育就学奨励費を支給す る。	
令和4年度実績評価 (施策評価)	就学援助費については、令和3年度の実績と比較し、支給額は3,465千円増(R3: 15,520 千円、R4: 18,985千円)、支給対象者は17名増(R3: 219名、R4: 236名)となった。また、特 別支援教育就学奨励費については、令和3年度の実績と比較し、支給額では579千円増 (R3: 3,908千円、R4: 4,487千円)、支給対象者は14名増(R3: 105名、R4: 119名)となった。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和3年度実績評価	就学援助費については、令和2年度の実績と比較し、支給額は517千円増(R2: 15,003千 円、R3: 15,520千円)、支給対象者は5名増(R2: 214名、R3: 219名)となった。また、特別 支援教育就学奨励費については、令和2年度の実績と比較し、支給額では813千円増(R2: 3,095千円、R3: 3,908千円)、支給対象者は22名増(R2: 83名、R3: 105名)となった。	
今後の取組課題 又は改善点	市ホームページや就学時健康診断の案内通知への資料同封、各小中学校におけるPT A総会などでの資料配布等により、引き続き制度の周知に努める。 また、認定及び支給手続きの効率化について、研究・検討を進める。	

令和4年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	安全でおいしい給食の安定的な提供	
施策名 (中分類)	安心・安全なおいしい給食作りの実施【⑧-(1)】	担当課・係 教育総務課 給食センター係
施策の目的	学校給食における衛生管理体制を徹底し、児童生徒に安心安全なおいしい給食を提供する。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・年間給食残食率が3.0%以下になることを目標とする。 ・学校給食摂取基準と食品構成に基づいた献立(案)を作成し、栄養担当職員及び委託先責任者で組織する献立会議を月1回開催する。 	
令和4年度実績評価 (施策評価)	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、給食の食べ方や配膳方法が変わり残食率が増加し、目標の3%以下は達成することができなかった。</p> <p>また、調理作業前の朝礼時に衛生面の情報提供をし、職員全体の衛生管理意識の向上に役立てることができた。献立会議を月1回、調理打合せ会を随時実施し、新たなメニューの考案・提供等にも努めた。</p>	
	B	<p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。</p> <p>B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。</p> <p>C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p>
令和3年度実績評価	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、給食の食べ方や配膳方法が変わり残食率が増加し、目標の3%以下は達成することができなかった。また、調理作業前の朝礼時に衛生面の情報提供をし、職員全体の衛生管理意識の向上に役立てることができた。献立会議を月1回、調理打合せ会を随時実施し、新たなメニューの考案・提供等にも努めた。</p>	
今後の取組課題 又は改善点	給食センターでは安心安全な給食を提供するため、委託先との密接な連携のもと、安全な物資の調達、衛生管理の徹底を図り、職員全員が同じ意識を持ち進めていく。また、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行することから、給食の食べ方や配膳方法が通常に戻ることや、食に関する指導などで栄養教諭と連携して食の大切さを伝え、残食減少に繋げる。	

施策名 (大分類)	安全でおいしい給食の安定的な提供	
施策名 (中分類)	食育及び地産地消の推進【⑧-(2)】	担当課・係 教育総務課 給食センター係
施策の目的	学校給食を通じて成長期にある児童生徒が、望ましい食生活の形成や好ましい人間関係の育成が図られることを目的に、食育推進事業を進めていく。また、安心安全で新鮮な食材となる地場産品の給食への使用拡大を図り、食育推進に繋げていく。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭による「食に関する指導」を小中学校等で実施する。 ・「ふるさと給食週間」を年に3回実施し、毎月「ふじのくに地産地消の日」である23日を中心に地元食材を活用したメニューを1品提供する。 	
令和4年度実績評価 (施策評価)	<p>「食に関する指導全体計画」を基本として、学校教育課や小中学校等と連携を取り合いながら、栄養教諭による食育の推進を行うことができた。また、「ふるさと給食週間(年3回)」、「地産地消の日(月1回)」において市内産農作物を献立に取り込むとともに、年間を通じて地場産の野菜・味噌・茶や主食となる米を給食に使用し、地産地消推進の拡大に繋げることができた。</p> <p>また、高校生考案の市内農産物を使った新商品ビジネスマッチングに参加し、市内産芽キャベツを使った新たなメニューを学校給食で提供することができた。</p>	
	A	<p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。</p> <p>B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。</p> <p>C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p>
令和3年度実績評価	<p>「食に関する指導全体計画」を基本として、学校教育課や小中学校等と連携を取り合いながら、栄養教諭による食育の推進を行うことができた。また、「ふるさと給食週間(年3回)」、「地産地消の日(月1回)」において市内産野菜を使用した新たな献立に取り込むとともに、年間を通じて地場産の野菜・味噌・茶や主食となる米を給食に使用し、地産地消推進の拡大に繋げることができた。</p>	
今後の取組課題 又は改善点	今後も地産地消推進会議を開催し、給食への地場産品使用拡大について意見交換を行う。また、生産者や関係者の協力により市内農産物を活用した新たな献立や食材の製品化を検討し、地産地消の推進に役立てていくことが必要となっている。	

令和4年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	安全でおいしい給食の安定的な提供			
施策名 (中分類)	安定した給食業務の実施【⑧-(3)】	担当課・係 教育総務課 給食センター係		
施策の目的	安心安全な学校給食作りを推進するために、安定した給食業務(給食食数の管理、給食会計、施設の維持管理等)の実施を図る。			
教育委員会による自己評価				
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校等と連携し、給食費未納者に対して徴収を働きかける。 ・給食調理機器、食器洗浄機、付属施設等の維持管理を適切に実施する。 			
令和4年度実績評価 (施策評価)	<p>安定した給食業務を実施するため、各小中学校と連携を取りながら給食事務・給食会計処理等を進め、現年度の徴収率(3月末)については、前年度99.92%であったが、本年度は99.90%となった。なお、物価高騰に伴い職員分の追加徴収があったことから徴収率(3月末)が低下しているが、出納閉鎖となる5月末には前年度と同程度となると見込んでいる。</p> <p>また、厨房施設の維持管理を適切に実施し、事故やトラブルなく給食作りを行うことができた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle; font-size: 2em;">A</td> <td> <p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。</p> <p>B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。</p> <p>C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p> </td> </tr> </table>		A	<p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。</p> <p>B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。</p> <p>C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p>
A	<p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。</p> <p>B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。</p> <p>C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p>			
令和3年度実績評価	<p>安定した給食業務を実施するため、各小中学校と連携を取りながら給食事務・給食会計処理等を進め、現年度の徴収率(3月末)については、前年度99.89%であったが、本年度は99.92%となった。また、厨房施設の維持管理を適切に実施し、事故やトラブルなく給食作りを行うことができた。</p>			
今後の取組課題 又は改善点	<p>給食費完全納付に向けて、給食センターと学校等との連携をさらに強化し、家庭環境などの情報を共有化して、未納対策に取り組む必要がある。</p>			

基本目標	「豊かなこころを育むまち」	
基本方針	～市民一人ひとりの豊かな個性や創造力を伸ばす～	
重点施策	3 市民一人ひとりが心豊かで充実した人生を送ることができる社会の実現【社会教育】	
施策(大分類)	施策(中分類)	個別事業(事務・事業)
① 地域で子どもを守り育てる (社会教育課)	(1) 住民主導による子どもの健やかな成長を育む組織づくり	ア 青少年健全育成市民会議活動の推進
		イ 街頭生活指導の実施
		ウ 菊川市子ども会連合会等の青少年活動団体の育成支援
	(2) 地域と学校の連携	ア 社会教育委員との連携
		イ 中学生ふるさと未来塾の実施
	(3) 豊かな感性と社会性を育む活動の推進	ア ボランティア活動支援センターの設置と運営
		イ 活動級別認定の実施及び表彰
	(4) 豊かな感性と社会性を育む体験活動の推進	ア ときどきフェスティバルの開催
		イ 小谷村地域間交流体験教室の開催
		ウ はたちの集いの開催
	(5) 放課後子どもプランの推進	ア 放課後子ども教室の実施
		イ 放課後子ども教室と放課後児童クラブとの連携
	② 家庭の教育力向上 (社会教育課)	(1) 家庭教育の推進
イ 家庭教育支援員の派遣・推薦		
③ 生涯学習活動の推進 (社会教育課)	(1) 生涯学習活動の推進	ア 自主講座団体の登録申請・施設利用受付
		イ 生涯学習推進員研修会の開催
		ウ 生涯学習講座の開催

基本目標	「豊かなこころを育むまち」	
基本方針	～市民一人ひとりの豊かな個性や創造力を伸ばす～	
重点施策	3 市民一人ひとりが心豊かで充実した人生を送ることができる社会の実現【社会教育】	
施策(大分類)	施策(中分類)	個別事業(事務・事業)
④ 鑑賞機会の提供 (社会教育課)	(1) アエル指定管理者との連携	ア 芸術文化振興事業の委託 イ 文化会館アエル運営委員会の開催
	(2) アエルの計画的な施設の改修	ア 設備改修計画に基づく工事及び工事関連業務委託の実施
⑤ 市民の文化・芸術活動への支援 (社会教育課)	(1) 文化芸術活動の振興	ア 文化祭、絵画コンクール、書き初め展の開催委託
		イ 文化協会活動への支援
		ウ 芸術文化大会等への出場者(団体)の顕彰
		エ 文芸振興事業の検討
	(2) 中央公民館の管理・運営	ア 公民館施設の維持管理
		イ 公民館施設の貸出
	(3) 文化振興計画の推進	ア 文化振興計画の推進及び検証
		イ 歴史検定事業の教本の作成
		ウ 地域資源を生かした文化資源交流事業の検討
⑥ 文化財の保存・周知・活用 (社会教育課)	(1) 文化財の保護	ア 文化財保護審議会の開催
		イ 国指定文化財等の維持管理及び整備
		ウ 文化財防火訓練の実施
	(2) 文化・顕彰活動支援	ア 指定無形民俗文化財の伝承及び活用に対する補助
		イ 地域文化財活動団体への支援
		ウ 関口隆吉氏顕彰事業・ウォーキングイベントの開催
	(3) 文化財の活用	ア 黒田家代官屋敷資料館の運営
		イ 街道画及び埋蔵文化財等の展示・活用
		ウ 埋蔵文化財センターの運営・管理
		エ 塩の道公園の管理及び活用
	(4) 史跡の管理・活用	ア 史跡菊川城館遺跡群整備委員会の開催
		イ 史跡菊川城館遺跡群整備基本設計の実施
	(5) 開発に伴う埋蔵文化財の保護・管理	ア 周知の埋蔵文化財包蔵地の新規登録、範囲変更及び調査履歴等の更新
		イ 各種開発による試掘・確認調査の実施
		ウ 発掘調査の実施

基本目標	「豊かなこころを育むまち」	
基本方針	～市民一人ひとりの豊かな個性や創造力を伸ばす～	
重点施策	3 市民一人ひとりが心豊かで充実した人生を送ることができる社会の実現【社会教育】	
施策(大分類)	施策(中分類)	個別事業(事務・事業)
⑦ 誰もがスポーツに触れあう機会の創出 (社会教育課)	(1) 生涯スポーツの推進	ア スポーツ教室・スポーツイベントの開催
		イ 各地区のスポーツ活動の推進
		ウ 体育用備品の適正な管理
	(2) 市主催スポーツ大会の開催	ア 市民健康駅伝競走大会の開催
		イ 各種交流会の開催
		ウ 市主催スポーツ大会等の運営(スポーツ推進委員・スポーツ委員)
⑧ スポーツ団体・スポーツ活動への支援 (社会教育課)	(1) 市体育協会の育成強化	ア 菊川市体育協会の自立、支援、連携
		イ 菊川市体育協会への事業委託
		ウ 菊川市体育協会の加盟団体の活動支援
	(2) 各種スポーツ団体等の育成・強化	ア 静岡市町対抗駅伝への参加及び陸上選手権大会・シニアゲートボール大会の開催
		イ 全国大会等への出場者(団体)支援
		ウ 指導者育成スポーツ講座の開催
	(3) 総合型地域スポーツクラブ「アプロス菊川」の支援	ア スポーツクラブとの連携強化
		イ クラブ活動への支援、連携
	⑨ スポーツ活動の場の提供 (社会教育課)	(1) スポーツ施設の整備・管理
イ 利用者の安全第一を考えた施設の計画的な改修、修繕		
ウ 利用者の公平な利用、スポーツ活動の振興に期するための施設の貸出		
エ 菊川運動公園北グラウンド整備		
オ 体育施設夜間照明LED化		
(2) スポーツ推進に係る調査・審議		ア 菊川市スポーツ推進審議会の開催
		イ スポーツ振興基本計画の検証と推進
		ウ スポーツ振興基本計画庁内連絡会の開催
		エ 第2次スポーツ振興基本計画の策定

令和4年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	地域で子どもを守り育てる			
施策名 (中分類)	住民主導による子どもの健やかな成長を育む組織づくり【①-(1)】	担当課・係 社会教育課 社会教育係		
施策の目的	青少年の健全育成や非行等の問題行動防止に向け、支部の青少年健全育成会活動を通じて、家庭、学校、地域住民など、地域社会と行政(関係機関)がそれぞれの役割と責任を担いつつ相互に協力し、「地域の青少年は地域で安全に守り育てる」を柱とした健全育成事業を推進する。			
教育委員会による自己評価				
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年非行・被害防止街頭キャンペーン、街頭生活指導を実施する。 ・市子ども会連合会等の青少年活動団体への支援を行う。 			
令和4年度実績評価 (施策評価)	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、安全安心ひとづくり大会は大会規模を縮小し、中央公民館で実施した。また、青少年ボランティア級認定表彰では、1名を表彰した。菊川市子ども会連合会事業では、「お腹元気教室」と「消防体験」を実施した。</p> <table border="1"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">B</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table>		B	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
B	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。			
令和3年度実績評価	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、青少年非行・被害防止街頭キャンペーン、街頭生活指導は参加人数を限定して実施した。関係団体との協議により、安全安心ひとづくり大会は表彰のみ実施し、菊川市子ども会連合会事業はドッジボール大会・レクリエーション大会の代替事業として「消防署体験」「川柳コンテスト」を実施した。</p>			
今後の取組課題 又は改善点	<p>事業内容や団体支援の方法について、各関係機関との連携を継続していく。また、子ども会連合会が実施する事業への支援を継続する。</p>			

施策名 (大分類)	地域で子どもを守り育てる			
施策名 (中分類)	地域と学校の連携【①-(2)】	担当課・係 社会教育課 社会教育係		
施策の目的	地域と学校が相互に連携し、地域住民等の幅広い参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支援することにより、住民等の学習成果を子育てに活かす場の拡充及び地域の教育力の活性化を図る。			
教育委員会による自己評価				
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員会定例会を年6回開催する。 ・中学生向けの企業説明会「ふるさと未来塾」を市内3中学校にて開催する。 			
令和4年度実績評価 (施策評価)	<p>社会教育委員会ではテーマを「地域と学校の関わり方を考える」とし、会議を年6回開催した。また、はたちの集いの運営補助の他、『冬休みみんなで勉強会』を企画・実施した。中学生ふるさと未来塾事業は、市内の企業・団体の協力を得て、市内3中学校で実施することができた。実施後に行った事業者アンケートでは「今後も地域の事業者として学校教育に関わっていきたい。」等の声が聞かれた。</p> <table border="1"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table>		A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。			
令和3年度実績評価	<p>社会教育委員会定例会は6回開催し、ふるさと未来塾の視察や成人式の運営補助等、地域と学校との連携に関する取り組みを実施した。中学生ふるさと未来塾事業は、各学校や企業・団体の協力を得て実施することができた。新規6社の参加を得たほか、参加者アンケートをWebから回答できるよう改善した。</p>			
今後の取組課題 又は改善点	<p>ふるさと未来塾の継続した実施に向け、学校と日程や内容との調整を行うとともに、社会教育委員や、地域学校共同活動推進委員との連携を図る。</p>			

令和4年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	地域で子どもを守り育てる	
施策名 (中分類)	豊かな感性と社会性を育む活動の推進【①－(3)】	担当課・係 社会教育課 社会教育係
施策の目的	児童・生徒にボランティア活動や社会参加活動への参加を促し、広く社会で活動することを通し社会性や思いやりの心を育て、健やかな青少年の育成を支援する。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	・各学校及び受入施設と連携し、児童生徒へのボランティア活動実践の場を提供する。 ・児童生徒がボランティア活動を行った時間数に応じて取得したポイントにより、ボランティア認定証を交付する。	
令和4年度実績評価 (施策評価)	新型コロナウイルス感染症の影響により、受入施設や参加者は従来より減少したものの、年間を通じて可能な範囲でのボランティア活動が行われ、継続して活動した1名が菊川市ボランティア級認定表彰を受けた。	
	B	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和3年度実績評価	新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため、年度後半のみの募集としたが、募金活動など可能な範囲でのボランティア活動が行われ、継続して活動した9名が市ボランティア級認定表彰を受けた。	
今後の取組課題 又は改善点	ボランティアの受け入れ先や学校と連携し、可能な範囲で安全を確保した活動を計画する。また、事業の周知や参加者との連絡調整には、WEBの活用を継続して行う。	

施策名 (大分類)	地域で子どもを守り育てる	
施策名 (中分類)	豊かな感性と社会性を育む体験活動の推進【①－(4)】	担当課・係 社会教育課 社会教育係
施策の目的	次世代を担う子どもたちが、豊かな人間性とたくましさを備えるため、文化的・科学的な興味や関心を掘り起こし、体験や規律ある集団生活を通して人格形成を成すよう事業を推進する。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	・どきどきフェスティバル、小谷村地域間体験交流教室を開催する。 ・はたちの集いを開催する。	
令和4年度実績評価 (施策評価)	どきどきフェスティバルは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じて実施した。小谷村地域体験交流教室は、同感染症の拡大防止対策のため中止とした。はたちの集いは、規模を縮小して開催した。式典及び当日の様子を映し公開した動画は、2,200回再生となっている。	
	B	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和3年度実績評価	どきどきフェスティバルは参加者数を限定して実施した。小谷村地域体験交流教室は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため中止となった。成人式は二部制で開催した。公開した動画の再生回数は菊川地区で約2,600回、小笠地区で約1,700回と好評を得ている。	
今後の取組課題 又は改善点	はたちの集いについては、新型コロナウイルス感染症対策として変更した開催方法の内、良かったものを残しつつ、継続して実施する。	

令和4年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	地域で子どもを守り育てる			
施策名 (中分類)	放課後子どもプランの推進【①-(5)】	担当課・係 社会教育課 社会教育係		
施策の目的	放課後子ども教室は、地域の方々の参画を得て、児童とともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、児童が地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するものである。また、類似事業である放課後児童クラブとの連携を図り、総合的なあり方の検討を行い、よりよい環境づくりを推進する。			
教育委員会による自己評価				
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> 市内の小学校において、放課後子ども教室を開級する。 放課後子ども総合プラン運営委員会を開催する。 			
令和4年度実績評価 (施策評価)	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため、全校一律の開催は中止し、河城小学校及び加茂小学校で規模縮小の上実施した。9月から12月にかけて開級し、河城小学校では27人、加茂小学校では56人の参加があった。放課後子ども総合プラン運営委員会を1月に開催し、委員に対し報告するとともに、情報交換を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">B</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table>		B	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
B	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。			
令和3年度実績評価	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため全校一律の開催は中止し、河城小のみ規模を縮小して実施した。10月から12月にかけて5講座を開級し、小学校1年生から6年生延べ48名の参加を得た。放課後子ども総合プラン運営委員会は書面にて開催し、委員10名に報告を行った。</p>			
今後の取組課題 又は改善点	<p>新型コロナウイルス感染症による休講期間により、地域住民の協力者が活動から離れてしまうことが想定される。再開に際しては、地域住民及び学校両者の意見を確認し、開催方法について検討していく。</p>			

施策名 (大分類)	家庭の教育力向上			
施策名 (中分類)	家庭教育の推進【②-(1)】	担当課・係 社会教育課 社会教育係		
施策の目的	保護者同士が交流し、「子育て」や「しつけ」について悩みや喜びを話し合う場を設け、子どもの健全な身体と人格の発達を助長するために家庭教育の在り方を学ぶ。			
教育委員会による自己評価				
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> 市内の幼稚園、保育園、こども園、小中学校において、家庭教育学級を開設する。 家庭教育支援員を、各園及び学校に派遣する。 			
令和4年度実績評価 (施策評価)	<p>市内幼保小中へ家庭教育学級の開設を呼び掛け、22学級が開設した。新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため、昨年度に引続き学習の回数を年6回以上から3回以上に変更し、在宅でも取り組める事例として、読み聞かせや早寝早起きの取組を紹介した。また、家庭教育支援員による講座を7回実施する他、新たな家庭教育支援員の委嘱に向けた協議、調整を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table>		A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。			
令和3年度実績評価	<p>家庭教育学級には全幼保小中への開設を呼びかけ、22学級の参加を得た。新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため学習の回数を年6回以上から3回以上に変更し、在宅での取組も推奨した。家庭教育支援員は新規に2名を委嘱し、4箇所で開催した。</p>			
今後の取組課題 又は改善点	<p>新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた取り組み実績や反省をもとに、運営方法の検討が必要である。また、家庭教育支援員の増員に向けては、関係機関等への働きかけや情報収集を継続して行う。</p>			

令和4年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	生涯学習活動の推進	
施策名 (中分類)	生涯学習活動の推進【③-(1)】	担当課・係 社会教育課 社会教育係
施策の目的	地域での生涯学習活動を推進するため、各種情報提供を行う。また、生活に潤いを与える趣味の講座や、社会問題について視野を広める講座等、幅広い学習の場を提供し、市民が仲間と共に楽しく学びつつコミュニケーション能力を高め、豊かな感性と人間性を養うことができる、学習の場を提供する。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・自主講座団体の登録申請を募集し、活動の支援を行う。 ・ステップアップ講座、いきいきカレッジ菊川を開催する。 ・生涯学習推進員研修会を開催する。 	
令和4年度実績評価 (施策評価)	<p>自主講座については、ステップアップ講座終了時に3講座から連絡が有り、1講座(茶道)がサークルの立上げに至った。</p> <p>ステップアップ講座は前期と後期に分け、1講座5回ずつのシリーズ講座を全18種、単発講座6種を企画し、実施した。また、いきいきカレッジ菊川については、通常通り2会場で実施した。</p> <p>生涯学習推進員研修会は、年度末に1回研修会を開催し、生涯学習推進員38名が参加した。</p>	
	A	<p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。</p> <p>B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。</p> <p>C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p>
令和3年度実績評価	新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため10回連続の講座の企画を中止し、1回で完結する生涯学習講座を4講座、高齢者向けのスマホ入門講座を3講座実施した。生涯学習講座には延べ44人、スマホ入門講座には延べ70人の参加があった。生涯学習推進員研修は書面により活動状況の報告を行った。	
今後の取組課題 又は改善点	ステップアップ講座に関するアンケートでは、今のトレンドに合ったモノや多様な内容、複数の講師からの選択が可能となる体制づくり等を望む旨の意見をいただいた。 アンケートの意見を参考に、講座企画前の情報収集や新規講師の登録を推進していく。	
教育委員会による自己評価		
施策名 (大分類)	鑑賞機会の提供	
施策名 (中分類)	アエル指定管理者との連携【④-(1)】	担当課・係 社会教育課 社会教育係
施策の目的	アエル指定管理者との連携により、民間のノウハウを活用し、更なる文化振興を図る。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化振興事業を委託し、事業を実施する。 ・菊川文化会館アエル運営委員会を開催する。 	
令和4年度実績評価 (施策評価)	<p>菊川文化会館アエルにおける芸術文化の振興を図る業務委託を指定管理者に発注し、9事業が実施された。</p> <p>指定管理者との連携を図るため、管理運営状況の月例報告を受ける他、年3回の運営委員会により意見交換を実施した。</p>	
	A	<p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。</p> <p>B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。</p> <p>C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p>
令和3年度実績評価	指定管理者の公募を行い、令和4年度から8年度までの次期指定管理者として、引き続き㈱SBSプロモーションが選定された。指定管理者と定期的に報告会を開催し、意見交換や連携に努めた。また、年3回の運営委員会において、状況の報告を行った。	
今後の取組課題 又は改善点	市民の芸術文化の振興を図るため、業務の委託を継続する必要がある。 予算内で最大限の成果となるよう指定管理者との意見交換を密に行い、市民への鑑賞機会の提供や情報発信を継続して行う。	

令和4年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	鑑賞機会の提供	
施策名 (中分類)	アエルの計画的な施設の改修【④-(2)】	担当課・係 社会教育課 社会教育係
施策の目的	アエルは平成4年3月に開館し、随所に経年劣化が著しく、管理運営に支障をきたす恐れがあるため、修繕を実施する。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	・設備改修計画に基づく工事及び工事関連業務委託を実施する。	
令和4年度実績評価 (施策評価)	大・小ホール of 音響設備改修工事、リハーサル室大・小の空調設備更新工事、施設内の手洗場の自動水栓化工事を計画通り実施した。 開館から30年を経過し、施設の老朽化に対応するための協議を指定管理者と行い、楽屋4～9の空調設備更新工事を実施した。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和3年度実績評価	指定管理者と緊密に連絡を取り、施設の安全管理を図りつつ、予定どおりの改修、更新が実施できた。大ホール舞台照明調光装置改修工事とピンスポット入替工事については、当初別事業として計画していたが、一括発注することにより経費の節減を図った。	
今後の取組課題 又は改善点	経年劣化が進み、施設設備の更新や修繕が必要となっている。 指定管理者や施設点検業者から保安状況の聞き取りを行い、適切な施設更新を進める。	

施策名 (大分類)	市民の文化・芸術活動への支援	
施策名 (中分類)	文化芸術活動の振興【⑤-(1)】	担当課・係 社会教育課 社会教育係
施策の目的	市民の生涯学習推進のために実際生活に即する教育、学術及び文化に関する事業を行い、もって市民の教養の向上、健康の増進及び情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	・文化協会に文化祭、絵画コンクール、書き初め展の3事業を委託し、事業を実施する。 ・文芸振興事業のあり方について検討する。	
令和4年度実績評価 (施策評価)	委託3事業は全て実施した。文化祭では展示部門11団体、芸能部門18団体が参加し、2日間で1,563名が来場した。絵画コンクールでは73点の応募があり、入賞16点を選定した。書き初め展では380点の応募があり、入賞35点を選定した。 文芸誌検討委員会を全5回開催し、翌年度から再発刊することが決定した。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和3年度実績評価	文化協会と協議の上、委託3事業のうち文化祭を中止とした。絵画コンクール、書き初め展は実施することができた。絵画コンクールは美術展・写生大会に代わり新たに創設し、今回が初回となった。46点の応募があり、入賞15点を選定した。	
今後の取組課題 又は改善点	文化祭、絵画コンクール、書き初め展を継続することで、市民の生涯学習への気運を高めて行きたい。また、委託3事業を継続して委託できるよう、文化協会の組織づくりが必要である。 文芸誌を継続して発刊するための情報発信方法の検討が必要である。	

令和4年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	市民の文化・芸術活動への支援	
施策名 (中分類)	中央公民館の管理・運営【⑤-②】	担当課・係 社会教育課 社会教育係
施策の目的	市民の生涯学習推進のために実際生活に即する教育、学術及び文化に関する事業を行い、もって市民の教養の向上、健康の増進及び情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> 中央公民館の維持管理を適切に行う。 中央公民館の多目的ホール、会議室、和室等の貸出を行う。 	
令和4年度実績評価 (施策評価)	<p>保守点検や清掃業務委託、非常照明取替工事、駐車場街灯建替工事などを実施し、良好な状態を保つとともに、緊急を要する修繕に対応した。年度途中から収容定員の制限を撤廃して貸館を継続し、生涯学習や文化活動を目的とした利用はコロナ禍以前と比べると少ないものの、前年度比では回復傾向にある。施設の状況については、運営審議会において随時報告を行った。</p>	
	B	<p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p>
令和3年度実績評価	<p>保守点検や清掃業務委託などを実施し、良好な状態を保つとともに、緊急を要する修繕に対応した。定期的な消毒作業や収容定員の制限等を行い貸館を継続したが、ワクチン集団接種会場に指定されたことや、まん延防止措置の発令などの影響により、生涯学習を目的とした利用は縮小・自粛が続いている。施設の状況については、運営審議会において随時報告を行った。</p>	
今後の取組課題 又は改善点	<p>引き続き設備の点検、補修を行うとともに、長期的な修繕計画について検討を進める必要がある。新型コロナウイルス感染症の収束後には、コロナ禍で活動を停止していた利用者や団体に対して活動を再開してもらえよう呼び掛けをしていくことが必要となる。</p>	

施策名 (大分類)	市民の文化・芸術活動への支援	
施策名 (中分類)	文化振興計画の推進及び検証【⑤-③】	担当課・係 社会教育課 文化振興係
施策の目的	菊川市文化振興計画の「5カ年事業実施計画」の取組状況を検証するとともに、市民一人ひとりが自ら学び、地域とともに文化の継承・発展を図ります。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> 文化振興計画の推進委員会及び評価委員会を開催する。 歴史検定事業の教本の作成を検討する。 地域資源を活かした文化資源交流事業を検討する。 	
令和4年度実績評価 (施策評価)	<p>第1次文化振興計画について、評価委員会を開催し、総評をまとめることができた。歴史検定事業においては、2回の委員会を開催し、歴史検定の対象となる事項等方針をまとめることができた。地域資源を活かした文化資源交流事業に関しては、「家康伝説と秋葉街道」をテーマに文化財ウォーキングを行い、市内外から44名の参加があった。</p>	
	A	<p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p>
令和3年度実績評価	<p>第2次菊川市文化振興計画策定に向け、業務委託を行うとともに、策定委員会を4回開催し、文化振興計画において進捗管理する事業内容について議論した。令和4年3月に第2次菊川市文化振興計画を策定した。</p>	
今後の取組課題 又は改善点	<p>第2次文化振興計画の進捗管理を行うとともに、歴史検定の実施に向けた対象事項のとりまとめを行う必要がある。</p>	

令和4年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	文化財の保存・周知・活用	
施策名 (中分類)	文化財の保護 【⑥-(1)】	担当課・係 社会教育課 文化振興係
施策の目的	市内にある指定文化財の維持管理を行うことにより、郷土の貴重な文化財を保護活用していく。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護審議会を開催する。 ・国指定文化財等の維持管理及び保存整備を行う。 	
令和4年度実績評価 (施策評価)	文化財保護審議会を2回開催し、潮海寺仁王像を新たな市指定有形文化財に指定した。また、史跡等の指定文化財の管理を適切に行った。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和3年度実績評価	指定文化財の適切な維持管理が図られ、所有者、保存会等の協力により文化財の保護活用を図ることができた。文化財保護審議会を2回開催し、新たな指定文化財候補を見学した。	
今後の取組課題 又は改善点	今後も、指定文化財候補を調査し、新たな文化財指定を行うとともに、市の文化財の保存活用への取り組みが必要である。	

施策名 (大分類)	文化財の保存・周知・活用	
施策名 (中分類)	文化・顕彰活動支援【⑥-(2)】	担当課・係 社会教育課 文化振興係
施策の目的	菊川市に残る地域の文化財を保護するために、文化財の保護や継承を行っている団体に対して指導・支援を行う。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・指定無形民俗文化財の保存、継承活動を行っている団体及び地域文化財活動団体への支援を行う。 ・関口隆吉顕彰事業及び文化財ウォーキングを開催する。 	
令和4年度実績評価 (施策評価)	指定民俗文化財の虚空蔵山節分祭は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策により中止したため、補助金の支払いは出来なかった。関口隆吉の顕彰事業として、市内の小学6年生全員にパンフレットを配布した。また、文化財ウォーキングでは「家康伝説と秋葉街道」をテーマに小笠北地区を中心に巡り、44名が参加した。	
	B	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和3年度実績評価	文化財保護団体や資料館管理者へ支援することにより、菊川市に伝わる地域の文化財の保護や継承、活用を推進した。 初代静岡県知事「関口隆吉」氏のゆかりの地と横地城を巡る文化財ウォーキングイベントを実施し、市内外の方に市内の文化財を周知顕彰することができた。	
今後の取組課題 又は改善点	今後の民俗文化財の継承については、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行することを踏まえて、今後の取組みや組織運営について協議する必要がある。	

令和4年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	文化財の保存・周知・活用	
施策名 (中分類)	文化財の活用【⑥-(3)】	担当課・係 社会教育課 文化振興係
施策の目的	発掘調査等により出土した資料の展示や資料館等の収蔵品の展示を行うことにより、文化財の活用を図る。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・街道画及び埋蔵文化財等の展示、活用を行う。 ・どきどきスタンプラリーを開催する。 	
令和4年度実績評価 (施策評価)	<p>埋蔵文化財の展示・活用については、中央公民館展示室で特別展示を開催し、活用が図られた。街道画の展示・活用については、中央公民館、菊川文庫で2回展示を行い、街道画の普及に努めることができた。また、2月より近藤朔風の画集を展示した。</p> <p>昨年度に引き続き「どきどきクイズスタンプラリー」を企画し、史跡や城郭などに触れ合う機会を創出することができた。</p>	
	A	<p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。</p> <p>B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。</p> <p>C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p>
令和3年度実績評価	<p>埋蔵文化財の展示・活用については、中央公民館展示室で年間2回の特別展示を開催し、活用が図られた。また、昨年度に引き続き「どきどきクイズスタンプラリー」を企画し、史跡や城郭などに触れ合う機会を創出することができた。街道画の展示・活用については、中央公民館、菊川文庫で3回展示を行い、街道画の普及に努めることができた。</p>	
今後の取組課題 又は改善点	引き続き、街道画及び埋蔵文化財等の展示等を行い、周知活用に努める必要がある。	

施策名 (大分類)	文化財の保存・周知・活用	
施策名 (中分類)	史跡の管理・活用【⑥-(4)】	担当課・係 社会教育課 文化振興係
施策の目的	市内の周知の遺跡を適切に管理保護することにより、開発などから埋蔵文化財を保護し、次世代に歴史遺産を継承する。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡菊川城館遺跡群整備委員会を開催する。 ・史跡菊川城館遺跡群整備基本設計を実施する。 	
令和4年度実績評価 (施策評価)	<p>菊川城館遺跡群(高田大屋敷遺跡・横地氏城館跡)の整備基本設計の委託業務を行うとともに、整備委員会を開催し、高田大屋敷と横地城館跡の整備方針について議論した。令和5年3月に史跡菊川城館遺跡群整備基本設計を作成した。また、樹木維持管理計画を策定するための業務委託を行い、令和4、5年度で策定を行う。</p>	
	A	<p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。</p> <p>B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。</p> <p>C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p>
令和3年度実績評価	<p>菊川城館遺跡群(高田大屋敷遺跡・横地氏城館跡)の整備基本計画の委託業務を行うとともに、整備委員会を開催し、高田大屋敷と横地城館跡の整備方針について議論した。令和4年3月に史跡菊川城館遺跡群整備基本計画を策定した。</p>	
今後の取組課題 又は改善点	樹木維持管理計画を策定するとともに、史跡菊川城館遺跡群整備実施設計を作成する必要がある。	

令和4年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	文化財の保存・周知・活用			
施策名 (中分類)	開発に伴う埋蔵文化財の保護・管理【⑥-(5)】	担当課・係 社会教育課 文化振興係		
施策の目的	市内の周知の遺跡を適切に管理保護することにより、開発などから埋蔵文化財を保護し、次世代に歴史遺産を継承する。			
教育委員会による自己評価				
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・各種開発による試掘、確認調査を実施する。 ・発掘調査を実施し、発掘調査報告書として記録保存を行う。 			
令和4年度実績評価 (施策評価)	<p>試掘・確認調査の結果に基づき、市内遺跡の埋蔵文化財包蔵地の範囲の変更を行った。道路整備に伴う本発掘調査を実施し、記録保存による文化財保護に努めた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle; width: 10%; font-size: 2em;">A</td> <td> <p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。</p> <p>B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。</p> <p>C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p> </td> </tr> </table>		A	<p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。</p> <p>B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。</p> <p>C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p>
A	<p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。</p> <p>B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。</p> <p>C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p>			
令和3年度実績評価	<p>試掘・確認調査の結果に基づき、市内遺跡の埋蔵文化財包蔵地の調査履歴を更新した。開発に伴う本発掘調査を実施し、記録保存による文化財保護に努めた。</p>			
今後の取組課題 又は改善点	<p>本発掘調査の成果をまとめるための報告書の作成に取り組む必要がある。</p>			

令和4年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	誰もがスポーツに触れあう機会の創出	
施策名 (中分類)	生涯スポーツの推進 【⑦-(1)】	担当課・係 社会教育課 スポーツ振興係
施策の目的	いつでも、どこでも、だれでも取り組める運動やライフステージに応じたスポーツを推奨し、運動する人を増やし、市民の運動習慣の実施率を高めます。また、レクリエーションスポーツの普及活動を支援し、スポーツを通じた地域づくりを進めます。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	・シニア健康体操教室などのスポーツ教室、スポーツイベントを開催する。	
令和4年度実績評価 (施策評価)	新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を講じ、スポーツ教室及びシニア健康体操教室を実施し、市民への健康づくり、交流促進の場を提供することができた。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和3年度実績評価	新型コロナウイルス感染症対策のため、スポーツレクリエーションフェスティバル等は中止した。シニア健康体操教室は日程を変更して実施し、参加者の健康づくり、交流の促進を図ることができ、健康で豊かな人づくりに寄与することができた。	
今後の取組課題 又は改善点	第2次スポーツ振興基本計画に基づき、各種事業の内容の見直しや充実を図る必要がある。	

施策名 (大分類)	誰もがスポーツに触れあう機会の創出	
施策名 (中分類)	市主催スポーツ大会の開催 【⑦-(2)】	担当課・係 社会教育課 スポーツ振興係
施策の目的	いつでも、どこでも、だれでも取り組める運動やライフステージに応じたスポーツを推奨し、運動する人を増やし、市民の運動習慣の実施率を高めます。また、レクリエーションスポーツの普及活動を支援し、スポーツを通じた地域づくりを進めます。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	・スポーツレクリエーションフェスティバルを開催する。 ・ペタボード交流会、ビーチボール交流会を開催する。	
令和4年度実績評価 (施策評価)	新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を講じ、スポーツレクリエーションフェスティバルやNEWスポーツの普及事業として、ペタボードやビーチボール交流会を実施し、市民の運動能力に応じた事業を実施することができた。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和3年度実績評価	新型コロナウイルス感染症対策のため、陸上競技選手権大会、ペタボード交流会、ビーチボール研修会は中止したが、シニアゲートボール大会は開催した。	
今後の取組課題 又は改善点	第2次スポーツ振興基本計画に基づき、市民の運動習慣に繋がるよう、各種事業の内容の見直しや充実を図る必要がある。	

令和4年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	スポーツ団体・スポーツ活動への支援			
施策名 (中分類)	市体育協会の育成強化 【⑧-(1)】	担当課・係 社会教育課 スポーツ振興係		
施策の目的	NPO法人菊川市体育協会やスポーツ推進委員などと連携し、スポーツ事業を開催します。			
教育委員会による自己評価				
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・市体育協会への委託事業として、市町対抗駅伝競走大会及びスポーツ少年団交流会を開催する。 ・市体育協会の自立への支援を行う。 			
令和4年度実績評価 (施策評価)	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を講じ、前年度と同様に市町対抗駅伝への参加及びスポーツ少年団交流会を開催することができた。(市町対抗駅伝は、過去最高記録)また、市体育協会への自立支援として、指定管理業務の月次報告会及び四半期報告会において指導及び助言を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table>		A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。			
令和3年度実績評価	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じた上で、競技役員のノウハウを生かした円滑な運営により、市町対抗駅伝競走大会及びスポーツ少年団交流会を開催することができた。また、市体育協会の自立への支援として、指定管理に係る月次報告会及び四半期報告会において指導及び助言を行い、事務局運営の強化に努めた。</p>			
今後の取組課題 又は改善点	<p>新型コロナウイルス感染症の感染症法の分類が5類となり多くの事業が再開されることから、各種事業の内容の把握、情報の共有を図りつつ、自立への継続的支援を実施していく。</p>			

令和4年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	スポーツ団体・スポーツ活動への支援	
施策名 (中分類)	各種スポーツ団体等の育成・強化 【⑧-(2)】	担当課・係 社会教育課 スポーツ振興係
施策の目的	体育協会に所属するスポーツ団体やスポーツ少年団などに加え、任意のスポーツ団体など多数のスポーツグループに対する活動支援を行います。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	・スポーツ少年団及び菊川市体育協会加盟団体等の活動を支援する。	
令和4年度実績評価 (施策評価)	新型コロナウイルス感染症対策のため、体育協会主催事業は中止したが、スポーツ少年団事業の結団式や交流会を実施することができた。 また、全国大会等出場選手の支援として、補助金・奨励金の支給を行った。	
	B	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和3年度実績評価	新型コロナウイルス感染症対策のため、スポーツ少年団本部及び体育協会主催事業は中止したが、全国大会等出場選手を支援し、補助金・奨励金の支給を行った。	
今後の取組課題 又は改善点	引き続き、スポーツ少年団の支援を行い、青少年の健全育成につなげていく。また、奨励金制度を周知するとともに、市のスポーツ競技力の向上に努めていく。	

施策名 (大分類)	スポーツ団体・スポーツ活動への支援	
施策名 (中分類)	総合型地域スポーツクラブ「アプロス菊川」の支援 【⑧-(3)】	担当課・係 社会教育課 スポーツ振興係
施策の目的	平成23年2月27日に「アプロス菊川」が設立され、多くの年代がスポーツを生活の一部として習慣化するために中心的役割を担う総合型地域スポーツクラブとして、体制の確立を図る。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	・総合型地域スポーツクラブ「アプロス菊川」が主催する各種教室等の活動への支援を行う。	
令和4年度実績評価 (施策評価)	アプロス菊川への支援として、施設使用料を減免するとともに、市のシニア健康教室を共催により開催した。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和3年度実績評価	アプロス菊川への支援として使用料の減免を行い、市スポーツ教室を共催で開催するなど認知度向上及び活動機会の創出に努めた。	
今後の取組課題 又は改善点	アプロス菊川の認知度向上など、企画運営に対する協力を実施していく必要がある。	

令和4年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	スポーツ活動の場の提供			
施策名 (中分類)	スポーツ施設の整備・管理 【⑨-(1)】	担当課・係 社会教育課 スポーツ振興係		
施策の目的	スポーツ施設の安全・安心な利用のため、拠点となるスポーツ施設の管理と計画的な改修・整備を進めます。			
教育委員会による自己評価				
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者によるスポーツ施設の維持管理及び貸出を実施する。 小笠北小学校グラウンド及び内田小学校グラウンドの夜間照明灯をLEDに変更するなど、施設の計画的な整備を行う。 			
令和4年度実績評価 (施策評価)	<p>市民へのスポーツの機会提供のため、市内体育施設の貸し出し業務を行った。また、小笠北小学校及び内田小学校グラウンドの夜間照明灯のLED化工事を実施し、施設改修に努めた。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table>		A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。			
令和3年度実績評価	市民へのスポーツの機会提供のため、市内体育施設の貸し出し業務を行った。また、和田公園テニスコート照明灯のLED化工事等を実施し、施設改修に努めるとともに、感染対策として菊川運動公園野球場トイレの洋式化工事を実施した。			
今後の取組課題 又は改善点	令和3年度から導入したインターネットによる施設予約申請も定着傾向にある。引き続き利用者へ施設利用上のルールのお知らせを図っていく。また、市内体育施設のLED化を推進していく。			

施策名 (大分類)	スポーツ活動の場の提供			
施策名 (中分類)	スポーツ推進に係る調査・審議 【⑨-(2)】	担当課・係 社会教育課 スポーツ振興係		
施策の目的	スポーツ施設の安全・安心な利用のため、拠点となるスポーツ施設の管理と計画的な改修・整備を進めます。			
教育委員会による自己評価				
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ振興基本計画策定委員会を開催し、第2次スポーツ振興基本計画を策定する。 			
令和4年度実績評価 (施策評価)	<p>スポーツ振興基本計画策定委員会を年5回実施し、スポーツ推進審議会へ諮問、答申をいただき、第2次スポーツ振興基本計画を策定した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table>		A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。			
令和3年度実績評価	本市スポーツ振興基本計画の進捗管理については、庁内連絡会での事業成果や改善・問題点等の検証結果をスポーツ推進審議会へ報告し、意見・指摘を反映することができた。			
今後の取組課題 又は改善点	庁内連絡会議を実施し、第2次スポーツ推進計画の進捗管理を実施していく。			

基本目標	「豊かなこころを育むまち」		
基本方針	～市民一人ひとりの豊かな個性や創造力を伸ばす～		
重点施策	3 市民一人ひとりが心豊かで充実した人生を送ることができる社会の実現【社会教育】		
施策(大分類)	施策(中分類)	個別事業(事務・事業)	
⑩ 子どもの読書活動の推進 (図書館)	(1) 読書習慣の定着	ア 子ども読書活動推進計画の着実な実施と推進会議の開催	
		イ 第四次子ども読書活動推進計画の策定	
		ウ ブックスタート事業	
	(2) 学校図書館と公立図書館の連携	ア 学校司書巡回事業	
		イ 団体貸出の推進	
		ウ 子ども司書の養成と活動促進	
	(3) 移動図書館の充実	ア 移動図書館巡回事業	
		イ 利用者カードの促進	
	(4) 青少年サービスの充実	ア ボランティア・インターンシップの支援	
		イ YAコーナーの充実	
	(5) 子ども向けイベントの充実	ア こども図書館事業	
		イ 親子読書の集い(おはなしステーション)事業	
		ウ おはなし会等	
	⑪ 読書機会の提供と読書活動のすすめ (図書館)	(1) 多様な図書館サービスの提供	ア バリアフリーサービス
			イ 多文化サービス
ウ 予約・リクエストサービス			
エ 協力貸出・相互貸借の推進			
(2) 課題解決や多様な学習活動等の支援		ア レファレンスサービス機能の充実	
		イ 特設コーナー等の充実	
		ウ パスファインダーの充実	
(3) 情報通信技術(ICT)の活用		ア SNSを通じた情報発信	
		イ ホームページの充実	
		ウ インターネットサービスの提供	
⑫ 読書環境の整備 (図書館)	(1) 計画的な資料収集と蔵書管理	ア 図書館資料の充実	
		イ 地域資料等の収集とデジタル化	
		ウ 不用図書等の有効活用	
	(2) 専門性を備えた職員の育成	ア 専門的な研修等への参加促進	
		イ 職員のスキルアップ強化	
	(3) 市民協働による図書館運営の推進	ア 図書館ボランティア等への支援	
		イ 図書館ボランティア人材の育成	
	(4) 効果的な図書館運営の検討	ア 図書館運営の推進及び検証(図書館協議会)	
		イ 自主財源確保に向けた取り組みの充実	

令和4年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	子どもの読書活動の推進			
施策名 (中分類)	読書習慣の定着【⑩-(1)】	担当課・係 図書館 図書1・2係		
施策の目的	第三次菊川市子ども読書活動推進計画に沿って、7か月児相談時にブックスタートを実施し、幼少期からの読書習慣の定着を図る。			
教育委員会による自己評価				
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> 子ども読書活動推進協議会、子ども読書活動庁内推進委員会及び学校図書館担当者連絡会を開催する。 7か月児相談の場で親子にブックスタートパックの配布を行う。 第四次菊川市子ども読書活動推進計画を策定する。 			
令和4年度実績評価 (施策評価)	<p>子ども読書活動推進協議会、子ども読書活動庁内推進委員会及び学校図書館担当者連絡会を開催し、協議を行い、第四次菊川市子ども読書活動推進計画を策定した。7か月児相談の場で、親子にブックスタートパックの配布を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table>		A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。			
令和3年度実績評価	関連機関と協議を行い、第三次菊川市子ども読書活動推進計画に基づく事業を推進した。また、まん延防止重点措置等の期間を除き、7か月児相談の場で親子にブックスタートを実施した。			
今後の取組課題 又は改善点	第四次菊川市子ども読書活動推進計画を推進するため、各施設や各団体との連携・協力を密に行う。			

施策名 (大分類)	子どもの読書活動の推進			
施策名 (中分類)	学校図書館と公立図書館の連携【⑩-(2)】	担当課・係 図書館 図書1・2係		
施策の目的	子どもの読書活動の継続のために、学校図書館が機能できるよう公立図書館が連携して事業を実施する。			
教育委員会による自己評価				
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> 図書館司書が市内小中学校を月2回程度巡回訪問し、学校図書室の整備や読書を通じた学習支援等を行う。 菊川市子ども司書養成講座を開催し、菊川市子ども司書を認定する。 			
令和4年度実績評価 (施策評価)	<p>図書館司書が市内小中学校を月2回巡回訪問し、学校図書室の整備や読書を通じた学習支援等を行った。菊川市子ども司書養成講座を開講し、子ども司書7人を認定した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table>		A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。			
令和3年度実績評価	図書館司書による市内小中学校の巡回訪問は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、日程の変更はあったがほぼ目標どおり進めることができた。菊川市子ども司書養成講座は、まん延防止重点措置の期間であったため、感染拡大防止のため中止した。			
今後の取組課題 又は改善点	学校図書館の活用方法等について、学校と打合せを重ねていく必要がある。また、子ども司書認定者の活動を活発にし、読書推進に取り組んでいく。			

令和4年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	子どもの読書活動の推進	
施策名 (中分類)	移動図書館の充実【⑩-(3)】	担当課・係
		図書館 図書1・2係
施策の目的	なかよし2号で市内の小学校を定期的に巡回し、子どもたちが読書に親しむ機会を提供する。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	・なかよし号による市内小学校への巡回貸出を実施し、年間4,500冊以上の貸出を目標とする。	
令和4年度実績評価 (施策評価)	なかよし号による市内小学校への巡回貸出を実施した。貸出冊数は年間3,554冊で目標の78.9%であった。学校との日程調整の都合で中止した日があり、目標値に届かなかった。幼児施設への巡回は、昨年度より1園多い3園で実施した。	
	B	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和3年度実績評価	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、9月と1月下旬から3月のなかよし号の巡回を中止したことにより貸出冊数は3,178冊で目標の約70%に留まった。今年度なかよし号とは別にこども園に巡回し、園児に読書に親しむ機会の提供に取り組んだ。	
今後の取組課題 又は改善点	なかよし号は長期休業中を除く月1回の訪問となるため、学校と連携して訪問日の周知を行う。	

施策名 (大分類)	子どもの読書活動の推進	
施策名 (中分類)	青少年サービスの充実【⑩-(4)】	担当課・係
		図書館 図書1・2係
施策の目的	青少年ボランティアやインターンシップを受け入れるとともに、中高生向けの資料の充実を図り、青少年の読書の習慣化をめざす。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	・小中高生ボランティア、高校生職業体験、大学生インターンシップを受け入れる。	
令和4年度実績評価 (施策評価)	大学生インターンシップ3名を受け入れた。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、小中高生ボランティアの受け入れは中止した。	
	B	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和3年度実績評価	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、計画していたインターンシップは2日間だけの開催となった。	
今後の取組課題 又は改善点	小中高生ボランティアについては、子ども司書認定者の継続した活用も含めて取り組む。	

令和4年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	子どもの読書活動の推進	
施策名 (中分類)	子ども向けイベントの充実【⑩-(5)】	担当課・係 図書館 図書1・2係
施策の目的	子どもたちに図書館や本の世界に親しみきっかけを提供するため、おはなし会などの催事を実施する。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> 夏休み期間に、こども図書館を開催する。 012歳児おはなし会、すいようおはなし会、日曜おはなし会を開催する。 	
令和4年度実績評価 (施策評価)	7月18日(海の日)に、菊川文庫を会場としてこども図書館を開催した。 新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じながら、012歳児おはなし会、すいようおはなし会、日曜おはなし会を開催した。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和3年度実績評価	まん延防止重点措置の期間中は中止、日程の変更となったものがあるが、こども図書館フェスタ、各種おはなし会は新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じながら新しい生活様式の中で事業を実施した。	
今後の取組課題 又は改善点	こども図書館は夏休みの月曜日に開催していたが、平日のため親子での参加がしづらいことから「こども図書館フェスタ」と名称を変更して期間を拡大し、来館者が楽しめる特別プログラムやイベントを開催する。	
教育委員会による自己評価		
施策名 (大分類)	読書機会の提供と読書活動のすすめ	
施策名 (中分類)	多様な図書館サービスの提供【⑪-(1)】	担当課・係 図書館 図書1・2係
施策の目的	すべての人が快適に利用できるよう、図書館の資料やサービスを活用して市民のニーズに応える。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> 予約受付数18,000件以上、リクエスト受付数1,000件以上を目標とする。 年間の相互貸借冊数:1,600冊(内訳 貸出冊数600冊、借受冊数1,000冊)を目標とする。 	
令和4年度実績評価 (施策評価)	<ul style="list-style-type: none"> 予約受付数18,433件、リクエスト受付数819件であった。 年間の相互貸借冊数:1,396冊(内訳 貸出冊数713冊、借受冊数683冊)であった。 	
	B	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和3年度実績評価	<ul style="list-style-type: none"> 予約受付数は18,414件、リクエストは1,001件であった。 相互貸借は1,692件(貸出841件、借受は851件)であった。 専門性の高い本を県内外から借り受け、市民のニーズに応えることができた。 	
今後の取組課題 又は改善点	制度を周知し、広く活用を呼び掛けるとともに、一定のルールを設け、特定の利用者にサービスの偏りが発生しないよう運用する。	

令和4年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	読書機会の提供と読書活動のすすめ	
施策名 (中分類)	課題解決や多様な学習活動等の支援【⑪-(2)】	担当課・係 図書館 図書1・2係
施策の目的	図書館利用者が求める資料や情報を提供するレファレンス・サービス等の充実・高度化に努める。また、生涯学習情報その他の情報提供にも努める。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> 市民からの調査依頼に図書館資料を利用して回答する、レファレンスサービスを実施する。 月1～2回程度、特集コーナーを更新する。 	
令和4年度実績評価 (施策評価)	3,216件のレファレンスを受け付けた。小説や自然科学に関する内容が多かった。季節や行政課題等をテーマとした特集コーナー展示を92回実施した。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和3年度実績評価	<ul style="list-style-type: none"> レファレンスは3,254件であった。地域の歴史や小説などに関する内容が多かった。 季節や行政課題等をテーマとした特集コーナー展示を42回実施した。 	
今後の取組課題 又は改善点	問い合わせの多い質問や郷土に関する調査結果等を記録し、今後のサービスに活用する。	

施策名 (大分類)	読書機会の提供と読書活動のすすめ	
施策名 (中分類)	情報通信技術(ICT)の活用【⑪-(3)】	担当課・係 図書館 図書1・2係
施策の目的	紙媒体とデジタル媒体のハイブリッド図書館として、多様な方法で市民への情報提供を図る。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> 図書館公式Twitterから各館200件以上発信する。 図書館のイベント情報等をホームページに掲載し、情報発信を80回以上行う。 	
令和4年度実績評価 (施策評価)	図書館公式Twitterの発信を、菊川文庫200回、小笠図書館398回行った。ホームページにおいて図書館のイベント情報や特集展示等の情報発信を121回行った。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和3年度実績評価	<ul style="list-style-type: none"> 図書館公式Twitterの発信回数は菊川文庫175回、小笠図書館321回であった。 ホームページにおいて図書館のイベント情報や特集展示等の情報発信を99回行った。 	
今後の取組課題 又は改善点	図書館の魅力を発信する手段として、引き続きSNS等を活用していく。	

令和4年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	読書環境の整備	
施策名 (中分類)	計画的な資料収集と蔵書管理【⑫-(1)】	担当課・係 図書館 図書1・2係
施策の目的	多様化する市民ニーズに対応するために、一般書、児童書、参考資料、郷土資料、行政資料、視聴覚資料等の確保・充実に努める。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・新刊本の購入や寄贈資料の受入、書架整理を行う。 ・郷土資料の積極的な収集及び両館に所蔵する資料のデジタル化を行う。 	
令和4年度実績評価 (施策評価)	<p>図書7,842点(内新刊本購入7,263点、寄贈等579件)を受け入れた。各館それぞれ館内整理日に書架整理8回、蔵書点検1回を実施した。</p> <p>両館で所蔵する貴重な古文書・地域資料をデジタル化した。県立中央図書館、市図書館それぞれのホームページで10件を公開した。</p>	
	A	<p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。</p> <p>B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。</p> <p>C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p>
令和3年度実績評価	<ul style="list-style-type: none"> ・図書8,904点(内新刊本購入6,619点、寄贈等2,285件)を受け入れた。各館で書架整理8回、蔵書点検1回を実施した。 ・両館で所蔵する貴重な古文書・地域資料をデジタル化した。県立中央図書館、市図書館それぞれのホームページで10件を公開した。 	
今後の取組課題 又は改善点	両館とも書架が満架となっており、定期的な書架整理と除籍の作業が必要となっている。地域資料のデジタル化は、電子図書館の導入に併せて今後も継続して行っていく。	

施策名 (大分類)	読書環境の整備	
施策名 (中分類)	専門性を備えた職員の育成【⑫-(2)】	担当課・係 図書館 図書1・2係
施策の目的	図書館サービスを担う職員の資質・能力向上と、専門性の高い職員の育成活用を目指す。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的な研修等への積極的な参加を促進し、参加した研修の内容や成果を職員間で共有する。 	
令和4年度実績評価 (施策評価)	<p>担当業務や自身の能力を向上させるための研修に参加し、研修内容を他の職員と共有することで図書館運営の改善を図った。</p>	
	A	<p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。</p> <p>B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。</p> <p>C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p>
令和3年度実績評価	<p>担当業務や自身の能力を向上させるための研修に参加し、研修内容を他の職員と共有することで図書館運営の改善を図った。</p>	
今後の取組課題 又は改善点	子ども読書活動推進のための青少年サービスをはじめ、資料保存、障がい者サービス、図書館広報など幅広い分野の研修に参加して情報共有を行い、職員のスキルを上げる必要がある。	

令和4年度 点検評価シート

施策名 (大分類)	読書環境の整備	
施策名 (中分類)	市民協働による図書館運営の推進【⑫-(3)】	担当課・係 図書館 図書1・2係
施策の目的	図書に関するボランティア活動の場を創出・提供し、市民との協働による図書館運営を目指す。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	・おはなし会やおはなしステーション、こども図書館等の図書館行事において、ボランティアと協働して事業を実施する。	
令和4年度実績評価 (施策評価)	おはなし会やおはなしステーション、こども図書館等の図書館行事において、新型コロナウイルス感染症対策を図りながら事業を実施した。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和3年度実績評価	読み聞かせボランティアグループと協働した事業展開により、市民と一体となった図書館運営に取り組んだ。新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、おはなしステーションは中止した。	
今後の取組課題 又は改善点	新型コロナウイルス感染症の影響で、おはなし会のプログラムを変更したことや参加の自粛により参加者が減少している。ボランティアグループと協働し、新たな参加者獲得に向けた工夫を行う必要がある。	

施策名 (大分類)	読書環境の整備	
施策名 (中分類)	効果的な図書館運営の検討【⑫-(4)】	担当課・係 図書館 図書1・2係
施策の目的	効果的な図書館運営、市民サービスの充実向上を図るために図書館協議会を開催し、図書館のあり方等について検討する。	
教育委員会による自己評価		
令和4年度評価指標 (事業計画・目標)	・図書館の適切な運営のため、図書館協議会を3回開催する。 ・自主財源確保に向けた取り組みとして、雑誌スポンサーを募集する。	
令和4年度実績評価 (施策評価)	図書館協議会を3回開催し、第四次子ども読書活動推進計画の策定および電子図書館の導入について審議を行うことができた。 雑誌スポンサーを募集し、1社(掛川市労働者福祉協会)からの申し込みを得た。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和3年度実績評価	・図書館協議会では図書館活動の推進に繋がる審議を行うことができた。 ・雑誌スポンサーを募集し、3社(堀之内タクシー、DAI建築設計事務所、セガワ不動産)獲得した。	
今後の取組課題 又は改善点	図書館システム更新に合わせた電子図書館の導入に向け、引き続き図書館協議会で審議を行っていく。	

外部評価

教育委員会の活動「シート1」及び管理執行する事務「シート2」に対する外部評価

教育委員会の活動及び運営状況について

- ・4、5月と2、3月に審議案件が集中していて、大変ですね。学校及び教育施設訪問については、適切だと思います。学校訪問に関しては、各学校の校長先生からの説明が中心になりますが、「教育現場の生の声」を聞く機会（一般教員との意見交換会等）を検討されたらどうでしょうか。
- ・多くの案件を、各々の部署で熟考されていることを感じました。

教育委員会の活動に対する点検評価結果について

- ・コロナ禍にあって、活動の制限による調整等、大変だっただろうと思いました。
- ・9項目中、5項目が実現度Aですので、教育委員会の活動は適切であると思われます。(5)の教育委員の自己研鑽については、実現度、重要度ともにBであるが、教育長を除いた「教育委員の研修の場」がもう少し必要ではないか。

教育委員会が管理執行する事務に対する点検評価結果について

- ・12項目中、7項目が実現度Aですので、教育委員会が管理執行する事務については、適切であると思われます。
- ・一つひとつが重要なもので、相当なものだと思います。

こども政策課に対する外部評価

①幼児教育・保育の質の向上

- ・送迎バス内への園児置き去りや、幼児施設内での園児への不適切な言動等の報道には、心が痛みました。コロナ禍で、園経営や職員の仕事の負担が積み重なったのもかもしれませんが、どんな社会の状況の中でも、子ども達の大切な生命を守ること、心身共に健全な育ちを支えることは、教育の根幹ではないかと思います。
- ・園で安心して自分の思いを出し、物や人に自ら関わり、様々な体験ができていく菊川市の子ども達は幸せだと思いました。教育委員会をはじめ、園の先生方の日々の御努力のお陰と思います。ありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。
- ・実績評価がA又はBであり、目標は十分に達成されており、施策推進への園の努力が伺えます。コロナ禍において、安全に留意しながら行事のもち方等を工夫し、保護者との連携を保つ等、その時々々の社会情勢に配慮しながら、幼児教育の推進に力を注いでいることが感じ取れます。
- ・親子のふれあいや絵本の読み聞かせについて、今後も更に機会を増やしていくと同時に、子どもの変化とともに、保護者の意識の変化にも着目していただきます。

②地域社会・私立幼稚園・保育園・認定こども園・小中学校との連携

- ・コロナ禍で、ふれあい活動や交流の実施に、大変苦慮されたことと思います。様々なふれあいの機会を通して、子ども達が自己肯定感や人と関わる心地良さ、楽しさ、人の役に立つ嬉しさなどを、心に積み重ねていけるよう願っております。新型コロナウイルス感染症も収束の兆しが見られてきたことで、以前のような交流や連携が深まることを期待しております。
- ・公立園、私立園は、同じ幼児教育に携わっているとはいえ、私立園は独自性を濃く出し、運営していく特性があると個人的に捉えています。立場の違いがある中、公立園と私立園が運営について配慮すべき事項を共通理解できることは有意義であり、今後もより深く共通理解に努めていただき、乳幼児を預かる園として、各園共に、安心、安全な園運営に繋げていただきたいと思います。

②地域社会・私立幼稚園・保育園・認定こども園・小中学校との連携

・園から小学校へスムーズな移行ができることは、進学環境の負担軽減になります。今後も入学時の引継ぎや入学前の子どもの発達の理解のために、園の公開保育への小学校教諭の積極的な参加等を継続して行ってください。

・地域社会、関係機関と連携した幼児教育の推進について、今後の取組課題又は改善点に記載してあり、子ども達が楽しめる機会やふれあい体験の提供をお願いします。

学校教育課に対する外部評価

①中学校区等を核とした学びの環境づくり

・小中一貫教育「学びの庭」構想はすばらしい取り組みであると思いますが、市民の関心がどうなのか少し疑問が残ります。学舎運営協議会で議論されている内容や、豊かな学びを支える環境づくりの具体的な内容等を、もう少し、広報等で市民に情報提供したらどうでしょうか。

②ICT環境を生かした魅力ある授業づくり

・「きくがわ21世紀型授業」あるいは「主体的・対話的で深い学びのある授業」とは何か。これらを市民が理解しやすい言葉で表現されたらどうでしょうか。

・英語力の向上について、今後の取組課題又は改善点として、授業内容の充実に向けての環境整備等についても御検討をよろしくお願いします。

・ICT推進委員会を年3回実施するとなっておりますが、年間の授業カリキュラムが大変な中、少ない回数において成果を上げていることに敬意を表します。

③思いやりに満ちた学校づくり

・人権教育、福祉教育、心の教育、児童生徒一人ひとりに寄り添う支援、これらは学校教育の原点ですので、今後とも積極的な取り組みをお願いしたいと思います。

④「一人ひとりが生きる教育」の推進

・特別支援教育の推進、外国人児童生徒への教育支援については、大変きめ細やかな指導、支援をされていると思います。今後とも、外国人児童生徒の編入が増加してくると思いますので、「虹の架け橋」との連携をより強化していくことが大事であると思います。

・外国人児童生徒への教育支援は、本当に大変だと思います。支援員の配置は、現状で十分なのでしょうか。

⑤こころざしを持った頼もしい教職員の育成

・教職員を育成するためには、各種の研修会への積極的な参加と同時に、先生方が「自由に、かつ本音で話し合える機会」を多く作ることも必要ではないでしょうか。教師の仕事は、数値で計れないものが多いと思いますので。

・教職員の人事及び評価における、今後の取組課題又は改善点について、個人的にも教員免許更新制度には疑問を持っていたので、制度廃止は前向きに捉えています。今後、新たな研修制度義務付けにより、成果が見える研修に向けての取組を期待します。

・円滑な学校運営の推進における、今後の取組課題又は改善点について、各学舎(学校)で取り組みや成果に差が出ないように十分連携してください。

教育総務課・学校給食センターに対する外部評価

⑥学校施設の適正な維持管理・耐震化・長寿命化

・小笠東小学校校舎耐震補強・大規模改造工事により、耐震性の向上に加えて、トイレの洋式化がなされ、安心です。

⑦安全で安心して教育が受けられる環境づくり

・今後も、就学援助費支給の継続をお願いします。

⑧安全でおいしい給食の安定的な提供

・「ふるさと給食週間」の年間回数が増えると嬉しいです。地産地消、国内産、安心安全を心掛けて、献立を考えてくださっていることがよく分かりました。

・コロナ禍での残食率増加は、仕方ないことですが、またクラスで向かい合って、美味しく食べられる日が日常になってくれたら、残食が減って、子ども達の成長にも繋がると思います。

・今後も、新型コロナウイルス感染症のような予想を超える災害等の発生が予想されますので、その対応についても熟考をお願いします。

社会教育課（社会教育）に対する外部評価

①地域で子どもを守り育てる

・子ども達の関心、興味がどこにあるのか。ボランティア、将来の事、部活の事、成績、進学、職業、それらを細分化して、見える化してみたい。それに沿って、未来塾に出向いていただく企業を選びたい。大人の目線ではなく、中学生の目線に立つことも必要。

・ボランティア級認定、表彰は、参加回数(量)の評価と思われるが、本心から地域や隣人への思いやりを育む手段として、防災訓練等で責任を持たせる役割を体験させたらどうかと考える。

・社会教育委員の「はたちの集いサポーター」は良い事業だと思うが、「冬休み勉強会」は、内容や周知方法等を見直していく必要がある。子どもの目線で「大人の人達はすごいな！」と思わせる場面を取り入れるメニューが欲しいのではないだろうか。

・市子連のイベントの参加者募集の際、各単位子ども会(自治会)で連携し、参加を促した結果、全自治会で子ども会事業のいずれかに参加する機会を促進できました。

②家庭の教育力向上

・各家庭が持つ悩みは様々で、家庭教育支援員として同席しても子育ては大変だと感じる。しかしながら、口に出して発散するだけでも気持ちはスッキリしているようにも見える。ということは、その様な居場所が各所にもっと必要なのかもしれない。

・市子連のイベントは、親子で学ぶ体験参加としました。おなか元気教室は48組104名、消防署体験は17組56名の参加があり、各イベントを通して感想や学んだことを家族で話し合っていきたい、との声が聞かれました。

社会教育課（生涯学習）に対する外部評価

③生涯学習活動の推進

・生涯学習は、子どもから大人、高齢者に至るまで、人生一生学ぶことにある。趣味、嗜好は個人個人異なるので、講座など開設する時は迷うこともあるが、できるだけ老若男女バランス良く受講生を募集することが求められる。例えば、回数は少なくとも男性に特化した講座として、車のタイヤ交換方法(パンク時の)など。パソコン教室などは、男女問わず習ってみたい講座となっている。どちらかといえば、ほとんどが女性向きの講座となっているように見える。

・生涯学習は講座だけではなく、例えば青少年健全育成六郷支部では、年1回育児フォーラムを開催し、PTAや各学校の先生方、市民の皆さんとざっくばらんに意見を交わすことを目的としている。社会教育委員も同席させていただき、勉強するのも良いのではないかと。生活全てにおいて、学ぶことは一杯ある。それに気付いて生活することが生涯学習。

・私は、河城小学校の「放課後子ども教室」に参加させていただいている。開講された当時から、少しではあるがお手伝いさせていただいている。当初はあまり気が進まなかったが、スポーツ関係で参加している。数年経過した現在は、大変楽しいと思う様になった。子ども達が明るく元気に活発に運動するのを見て、自分が元気をもらい、活力を得ている様に思う。また、一年の終わりの発表会が良い。自分達の活動の成果を発表する、子ども達の発育と成果を見ることができる。自分の参加も強制的ではなく、自由にお手伝いできるため、今年度もできる範囲でお手伝いしたいと楽しみにしている。

・デジタル社会、SNSによる情報提供は、一層進展します。スマホ入門講座等は、繰り返し何度も開設し、中高年齢層に乗り遅れる方が少しでも減少するよう配慮が必要だと思う。講師も市若手職員等も楽しいのでは。

社会教育課（社会教育）に対する外部評価

④鑑賞機会の提供

・音楽や鑑賞は、個々好みは違うので、一概には言えないが、文化施設は様々なジャンルのプログラムをバランス良く配置して、継続して開催して欲しいと思う。

・委託事業の中で、一流の音楽を市内の小学校へ出前コンサートする等「おんがくのたねコン」を展開するのは、とても有意義と思う。

・市子連の総会で、文化会館アエルの特別インフォメーションのチラシ配布に協力し、役員22名、単位子ども会61単子に配布しました。

⑤市民の文化・芸術活動への支援

・市民に対する文化、芸術活動の推進は、ぜひ継続してやって欲しい。写生大会などは、絵を描くことのみではなく、菊川市を知る機会にも通じる。子や孫と語り合いながら、楽しくスケッチする楽しみがある。

・絵画コンクールの認知度が低いのかもしれない。幅広い年齢層からの参加、出展してもらえる仕掛けが必要と思われる。高齢者の参加が増えて欲しい。

・書き初め展では、市内の書道教室(書道連盟)の元気良いパフォーマンスを見掛けるので、本来の専門家集団へ戻してみることを再検討すべき時期かもしれない。

・劇団たんぽぽ「おはなしレストラン」、グランシップ出前公演「世界のこども劇場2023」を鑑賞する機会を促進した。(例年、複数の単位子ども会が年間計画に入れている。)

社会教育課（文化振興）に対する外部評価

⑥文化財の保存・周知・活用

・文化財の保存、周知、活用に関しては、現在、菊川市埋蔵文化財センターが中心となって諸施策が展開され、着実に成果を積み重ねている。しかし、課題もいくつかある。その一つが、文書資料についての収集、保存、周知、活用について、明確な方針が確立されていないことである。文書資料の保管場所で見ると、菊川文庫、小笠図書館、代官屋敷資料館等様々であり、新しい資料が持ち込まれた時の対応は、図書館職員であったり、埋蔵文化財センター職員であったり、これも様々である。文書資料は、菊川市の歴史を明らかにする上で不可欠なものであるが、時間の経過とともにこの世から姿を消していくものでもある。以上の観点より、文書資料の取扱いについて、その基本方針を確立することは急務だと考える。

・以下のことを試案として提案したい。

- 1 将来目標として、「菊川市郷土資料センター」設立を目指す。
- 2 当面、菊川文庫2階研修室(旧菊川町史編さん室)を「菊川市郷土資料室」として独立させる。
- 3 「菊川市郷土資料室」には、職員を配置し、文書資料の収集、保存、周知、活用などにあたる。埋蔵文化財センターと郷土資料センターを両輪とする、菊川市の文化財行政の将来展望を描くことが大切だと思う。

・横地城跡を理想的な形で後世に残し、かつ活用を目指す埋蔵文化財センターの皆さんの御努力に深く感謝します。

・菊川城館遺跡群整備委員会において、令和4年度から新たに加わった植物学の先生から、運営協議委員会の年間十数回におよぶ除草作業により、理想的な植生状態を保っているとお褒めの言葉をいただきました。その時、市民の憩いの場として地元が拘っている桜の植樹について、ソメイヨシノではなくヤマザクラがより自然に近いので、文化財保護法の縛りはあるが、その方向で検討したらどうか、との御助言をいただきましたので、社会教育課の積極的な御検討をよろしくお願いします。

・横地城跡のトイレの件で、二つの池の間を上っていくと、金玉落としの谷の手前に左折する道があり、しばらく行くと駐車場があります。パイオトイレ設置には最適な場所だと思うのですが。

社会教育課（スポーツ振興）に対する外部評価

⑦誰もがスポーツに触れあう機会の創出

・コロナ禍3年目にもかかわらず「シニア健康体操教室」(スポーツ協会主催)は参加状況が良かった。参加者が定着しているため、新しい参加者の開拓が必要である。

・「生涯スポーツ」が大切であるが、年とともに痛いところが増えてくる。「〇〇が痛いから体操教室をやめます。」という声を聞く。本当は、痛いからこそ(無理なく)体操を続ける必要があるのだが、残念な面が多々ある。

・誰もがスポーツに触れあう機会の創出には、スポーツに参加する人や関係者が、スポーツを通じ社会や地域に貢献できるかどうかだと思います。事業にあたり、スポーツに触れあう機会を多くするため、地域で活動している、多種多様なスポーツ団体や地域団体と連携し、参加者を募り、持続可能な環境でスポーツを楽しめるようにすることが成果に繋がるのではないかと。

⑧スポーツ団体・スポーツ活動への支援

・新型コロナウイルス感染症により、市の委託事業の「菊川市陸上競技選手権大会」は中止、スポーツ協会の「菊川Cityマラソン」も中止となった。その中でも、スポ少の交流会は実施することができた。

・県の市町対抗駅伝では、2年連続で最高記録がでるなど、大活躍が見られた。

・スポ少の交流会は、子どもの数の減少もあるが、年々参加者が少なくなり、交流会の在り方やその他再考が必要だと思う。

・スポーツ団体、スポーツ活動への支援は、地域振興、地域の活性化により、市の経済や社会、市民の健康などで多面的に貢献しているものであり、引き続き、きめ細かく支援をお願いします。

⑨スポーツ活動の場の提供

・市内の体育館の老朽化が進む中、建て替えや大規模な修繕計画が出され、大変嬉しく思っている。堀之内体育館の現場利用者としては、建て替え中の活動をどのようにするか、が大きな悩みとなっている。車の運転をしない高齢者も多く、建て替え中、活動を中止してしまうと、再活動は無理かもしれない。近くにある「きくる」や地区センターは満杯で借りられない。

・引き続き、十分な成果、施策の目的が達成されるようお願いいたします。

・堀之内体育館について、建て替えが実施されることが決まり、建築工事時に活動の場が減ります。事前に利用者への調整を対応し、スムーズな執行をお願いいたします。

・体育館の建て替え工事は別の部署が行う場合、担当部署と連携し、できれば利用者に工事進捗状況をホームページ等で提供することにより、利用者との情報共有を計ったかどうか。

図書館 事務事業に対する外部評価

⑩子どもの読書活動推進

・子ども達にとって、読書が人生の糧となるよう、これからもよろしく願いいたします。

⑪読書機会の提供・読書活動の啓発

・多様な図書館サービスについて、制度を周知することが大切だと思います。

⑫読書環境の整備

・地域資料のデジタル化が楽しみです。今後は、電子図書館導入に併せて、新しい形の図書館の在り方が出てくるように思います。しかしながら、従来の紙の本による読書も大切なので、忘れないで欲しいです。

総評:教育委員会全般について

・菊川市の子ども達には、大らかにのびのびと育ていって欲しい。そのためにできることは何か、を考えていきたい。何を見て、何を感じてやる気スイッチが入るのか、各々違うので、様々なチャンスを与えてあげたい。

・これからの世の中がどのように変化しても「変わらない価値あるもの」を大切に教育に取り組んでいってください。今、菊川市の各々の学校が目指している、豊かな人間性、正義感や公正さを重んじる心、自らを律しつつ他人と協調し、他人を思いやる心、人権を尊重する心、自然を大切にする心など、一人ひとりがのびのびと個性を発揮できるように、何よりも先生方が十分に力を発揮できるようにしていってください。

・今年度から、スクールガードが自治会から各学校の管理下に置かれた訳ですが、今後スクールガードを引き受けてくれる方が減少していくのではないかと心配しています。

・施策の中に目標値が〇〇%以上などと設定され、その目標値を上回る実績が示されていることは、大変素晴らしいことだと思います。一方、その達成数値以外(残る△△%となった児童生徒)への対策等について、どのような方法がとられているのかは、私達の視点では確認することができません。魅力ある学校づくり、思いやりのある学校づくりなど、大きな施策名が設定されているので、そのような子ども達への配慮を引き続きよろしく願いいたします。

・今年の校内運動会では、以前は実施していた個人の徒競走が行われていませんでした。これは、国や県、あるいは市の何らかの方針等によるものなのでしょうか。それとも何か問題があったのでしょうか。時間的制限があったならある程度理解できますが、スポーツ競技をやれば必ず勝ち負けはつくものであり、個人種目に限らず団体種目では今回もしっかり勝ち負けが出ています。個人的には訝しい主義主張は一切持っていませんが、今年の運動会を観戦した方の中では、少し違和感が感じられました。

総評:教育委員会全般について

・報告書を読ませていただき、教育行政に携わる皆様の日々の御努力、研修のお陰で、菊川市の子ども達が健全に育っていることを感じました。ありがとうございます。これからもよろしく願いいたします。

・現在、北幼稚園の新園舎建築と合わせ、おおぞら認定こども園の民営化に向けて、市が動いていると知りました。旧小笠地区には私立園が3つあり、その中には定員割れしている園もあります。そのような状況の中、また、今後出生率が低下する中、旧小笠地区にて北幼稚園の新園舎を建築することは、3私立園の経営を圧迫する可能性もあるのではないかと推測します。今後、更に出生率が低下する中、旧小笠地区の幼児施設の在り方について、どのような見通しを持たれているのでしょうか。ひかり保育園と北幼稚園の統合は実現には至らず、北幼稚園の新園舎建築に踏み切られるのでしょうか、時間も経過している中、北幼稚園の新園舎建築については、再度検討の余地があるのではないかと考えます。

・おおぞら認定こども園についてですが、保育園、幼稚園が合わさり、菊川市において初の幼保園(こども園)として新設され、約10年が経過し、運営も起動にのり、保護者の信頼も厚く、幼児教育に力を注いでくれています。支援を要するお子さんやリフレッシュ児の受入れ等も積極的に行い、ある意味、様々なニーズに応え、入園児受け入れの最終砦としての役目も担っています。公立園には、市の管理下ならではの役目というものがあると個人的に捉え、公立園の存続は必要であると考えます。

・おおぞら認定こども園が、250人余りの園児を預かりながらも、これまで大きな事故も無く、保護者の厚い信頼を得て運営がされてきたのは、内田保育園・加茂幼稚園の時を含めた公立園としての実績と、経験を積まれた保育士らの力があってこそだと考えます。ここまで健全な運営がされているこども園を民営化するのは、とても勿体ないです。民営化しても現園の教育を引き継ぐと紙面等で表記することがありますが、経験上それは皆無と捉えます。運営母体が違えば、そのやり方が重視されて当然です。現在のおおぞら認定こども園の施設をそのまま活用し、公立園として存続させることを、今一度検討してみることを切に願います。

・皆様、本当に日々御尽力されていると思います。今後ともよろしく願いいたします。



教育委員会自己点検・評価報告書

令和5年7月

菊川市 教育委員会 教育総務課

〒437-1514

静岡県菊川市下平川 6225

TEL 0537-73-1136 FAX 0537-73-1119

E-mail : kyouiku@city.kikugawa.shizuoka.jp